



TCS-1700

取扱説明書



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

改版履歴

第1版 2023年12月1日 新規作成

第1.1版 2024年02月13日 改版 製品仕様の修正
ターミナルブロックのピン配列を追記

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のある場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。
また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要	7
2. 梱包物一覧.....	7
3. 製品外観	8
3.1. 前面.....	8
3.2. 背面.....	9
4. インストレーション	12
5. 対応解像度一覧	13
6. 設定画面へのログイン.....	14
7. メニューの切り替え方法	18
7.1. SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え	18
7.2. LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え	18
8. 基本設定	19
8.1. IP アドレスの変更	19
8.2. 出力インターフェースの変更	20
8.3. 映像受信	21
8.4. ポート開放の設定	23
9. Setup メニュー	24
9.1. Video&Audio.....	24
9.1.1. Information	25
9.1.2. Audio	26
9.1.3. Output	27
9.1.4. Output OSD	30
9.2. Network.....	34
9.2.1. IP&Port	35
9.2.2. QoS	39

9.2.3. Remote	40
9.2.4. Discovery.....	49
9.2.5. SNMP	50
9.2.6. DDNS.....	52
9.2.7. IP filtering	53
9.2.8. SSL	54
9.2.9. Connecting.....	55
9.2.10. Decode List.....	56
9.3. Event.....	57
9.3.1. Notification.....	58
9.3.2. User Defined Event.....	60
9.3.3. Audio Detection	61
9.3.4. Sensor.....	62
9.3.5. Alarm	64
9.3.6. HTTP Action.....	65
9.4. Record.....	66
9.4.1. General	67
9.4.2. Schedule	69
9.4.3. Disk Information	70
9.4.4. Search Page	72
9.5. Device	73
9.5.1. Information	74
9.5.2. Serial	75
9.6. PTZ.....	77
9.6.1. General	78
9.6.2. Preset	79
9.7. User.....	80
9.7.1. User List	81
9.7.2. Login Policy.....	84
9.8. System.....	86
9.8.1. Information	87
9.8.2. Upgrade & Reboot	88
9.8.3. Time	90
9.8.4. OSD	91
9.8.5. Language.....	92
9.8.6. Log.....	93
10. Live メニュー.....	96

11. 製品仕様	98
12. 困ったときには.....	100
13. 製品保証	101

1. 製品概要

TCS-1700 は、H.264/H.265 の動画圧縮規格に対応した 4K デコーダです。

SRT, ONVIF, RTSP, RTP, MPEG-TS などのプロトコルに対応しているため、IP カメラや各種エンコーダと TCS-1700 の組み合わせが可能となります。

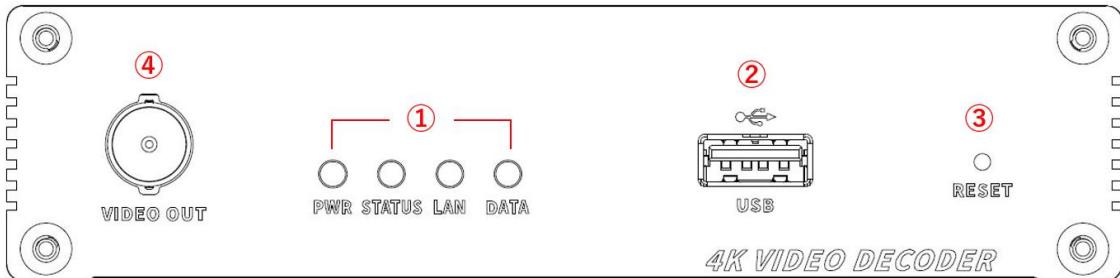
2. 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名 称	数 量
本体	1 台
AC アダプタ	1 個
固定金具	2 個
固定金具用ネジ	8 個
保護接地極用ネジ	1 個
3-pin ターミナルブロック	2 個
4-pin ターミナルブロック	2 個

3. 製品外観

3.1. 前面

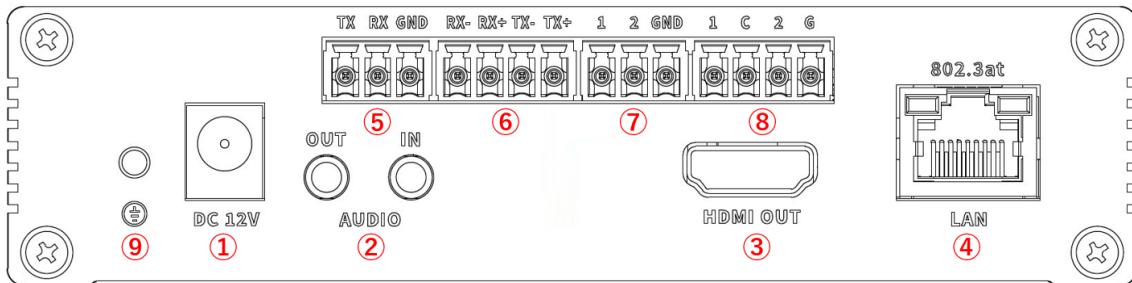


#	表示	説明
①	<u>LED</u>	電源の OFF/ON、本体の状態、対向機との接続状態、映像/データが送受信されているか等を示します。
②	<u>USB</u>	USB メモリを接続し、録画を保存します。 ※USB メモリースティックまたは USB HDD(外部電源付き)を推奨します。詳細は” USB ディスクについて ”をご確認ください。
③	<u>RESET</u>	ネットワーク設定を初期状態にします。 PWRだけが点灯するまで(約 7 秒間)押下してください。その後、自動で再起動し、約 1 分後にパスワード、IP 設定、ユーザリストのみ初期化された状態で起動します。
④	<u>VIDEO OUT</u>	コンポジット信号を出力します。

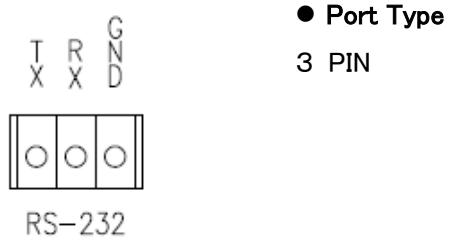
LED の状態

#	名称	状態	説明
①	<u>PWR</u>	消灯	電源が入っていません。
		緑点灯	電源が入っています。
	<u>STATUS</u>	緑点滅	システムが正常に稼働しています。
		赤点灯	システムに異常が発生しています。
		消灯	対向の機器と接続されていません。
	<u>LAN</u>	緑点灯	対向の機器と接続しています。
		赤点滅	対向の機器との接続を試みています。
		橙点灯	サポートしていない方法で接続しています。
	<u>DATA</u>	消灯	データが送信されていません。
		緑点灯	データが送信されています。
		赤点灯	データロスがあります。

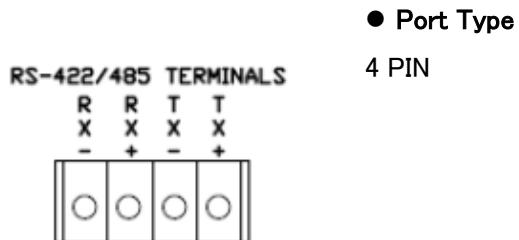
3.2. 背面



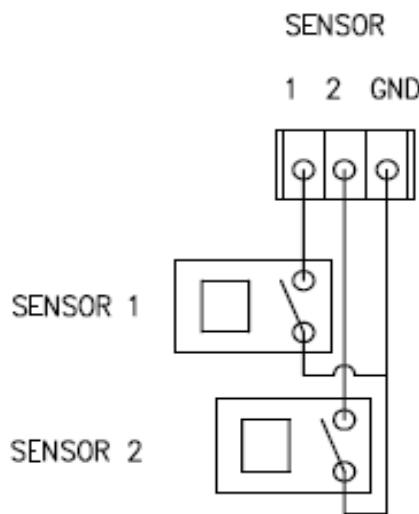
#	表示	説明
①	<u>DC12V</u>	DC12V の電源を供給します。
②	<u>AUDIO</u>	増幅機能を有するスピーカなどを接続します。 3.5mm ステレオミニジャックの LINE 出力ポートです。
		増幅機能を有する音源を接続します。 3.5mm ステレオミニジャックの LINE 入力ポートです。
③	<u>HDMI OUT</u>	HDMI 信号を出力します。
④	<u>LAN</u>	本機をネットワークに接続します。(10/100/1000Mbps)
⑤	<u>RS-232</u>	カメラのコントロール(PTZ 制御)を行います。
⑥	<u>RS-422/485</u>	カメラのコントロール(PTZ 制御)を行います。
⑦	<u>SENSOR</u>	外付けのセンサーを接続します。
⑧	<u>ALARM</u>	外付けのアラーム機器を接続します。
⑨		付属の保護接地極用ネジを接続します。

Serial ポート RS-232

ピン番号	ピン名	説明
1	TX	RS232 TX (Transmit)
2	RX	RS232 RX (Receive)
3	GND	Ground

Serial ポート RS-422/485

ピン番号	ピン名	説明
1	RX-	RS422 RX-
2	RX+	RS422 RX+
3	TX-	RS422 TX- or RS485 TRX- It is selectable by S/W setup
4	TX+	RS422 TX+ or RS485 TRX+ It is selectable by S/W setup

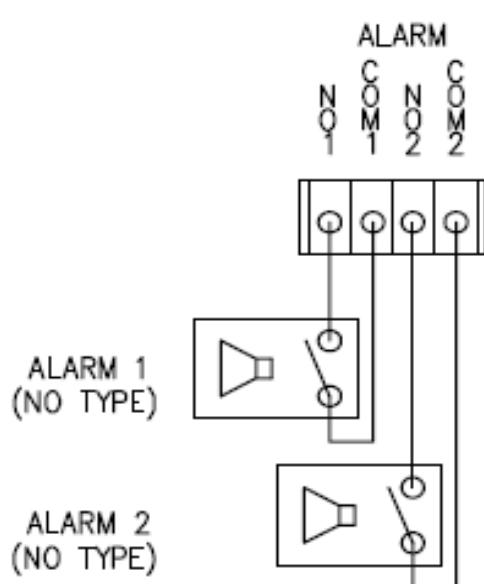
Sensor ポート

● Terminal Type

Color : Green

● Sensor Signal Input Type

NO Contact Signals

Alarm ポート

● Terminal Type

Color : Green

● Power Rating

(User has to use following spec)

Voltage Rating : 12VDC

Current Rating : 0.1A

● Alarm Signal Output Type

NO/NC Contact Signals

● Connection to External Device

External alarm line power is under 12V/1A

4. インストレーション

以下に接続例を示します。

■ 1 対 1 接続

一般的によく使われる構成は、1 対 1 接続です。

TCS-1700(デコーダ)の対向で使用するエンコーダは、TCS-9500 となります。

4K での映像伝送の場合は、1 対 1 でご使用ください。



また、音声信号を IP 化し、IP 経由での音声伝送ができます。

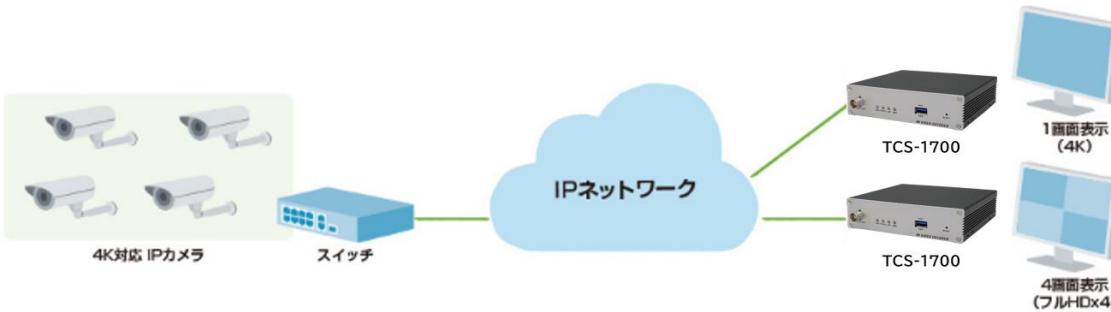
片方向はもちろん、双方向での音声やりとりが可能となります。



■ マルチデコード

互換共通規格「ONVIF」に対応。同製品のみならず、各社 ONVIF 対応 IP カメラ/エンコーダをマルチデコード可能です。

最大 4 ストリームまで分割表示が可能となります。



5. 対応解像度一覧

出力解像度	HDMI	Composite
720×480 p60	—	○
720×576 p50	○	—
1280×720 p50/60	○	—
1920×1080 p24/25/30/50/60	○	—
3840×2160 p25/30/60	○	—

※ ドロップフレームでの出力は対応していません。

また、HDMI の 720x480p60 および 3840x2160p24 での出力も未サポートとなります。

※ Composite OUT は、720x480 のみサポートしています。(固定)

6. 設定画面へのログイン

Web ブラウザを使用して、TCS-1700 の設定を行います。

- 推奨ブラウザ

Microsoft Edge (Internet Explorer モード)

※[Internet Explorer モード](#)の設定方法をご参照ください。

- ログイン初期設定

IP アドレス : 192.168.10.100/24

ユーザ名 : admin

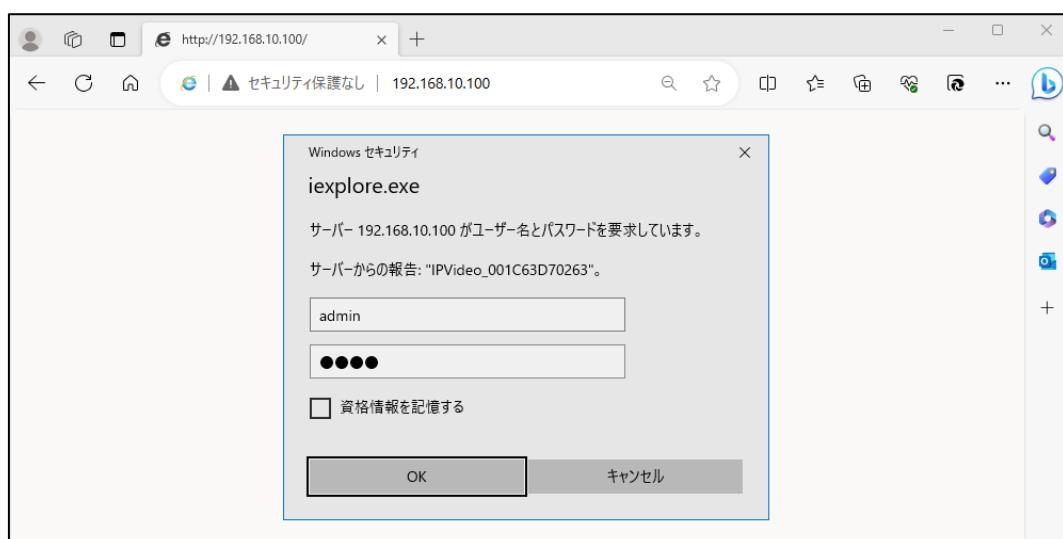
パスワード : 1234

- ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに”192.168.10.100”を入力して接続します。

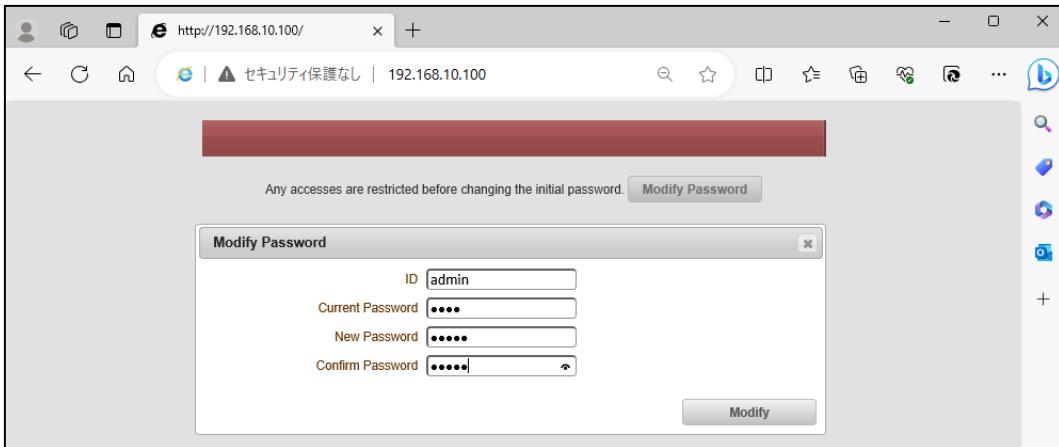


2. ユーザ名とパスワードを入力して、”OK”をクリックします

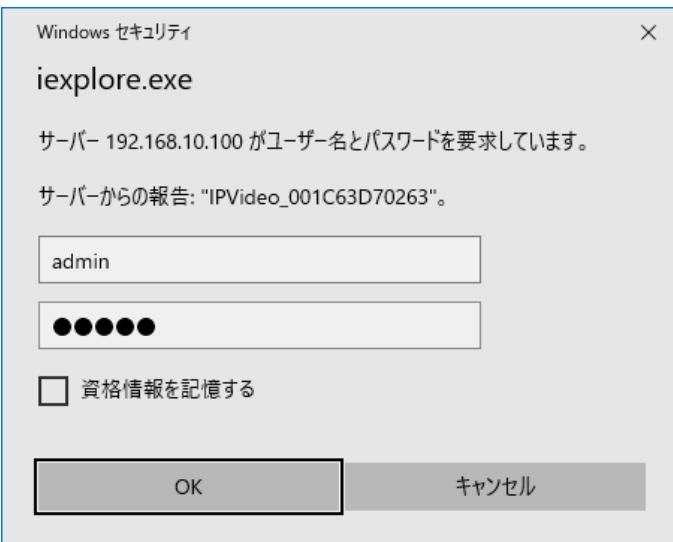


3. 初期パスワードの変更を必ず行います。(Modify Password をクリック)

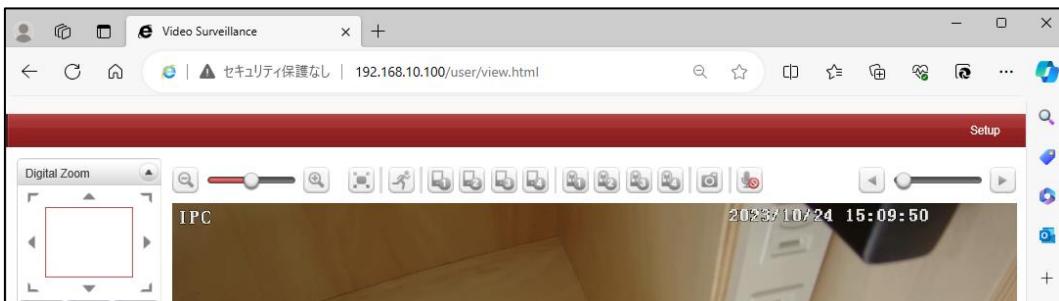
Current Password には初期値の 1234 を入力します。New/Confirm Password には初期値以外の新しいパスワードを入力し、Modify をクリックしてパスワードを変更します。



4. 再度ユーザ名とパスワードが要求されるので、上記 3 で設定した新しいパスワードでログインします。



5. ログインに成功すると、Live 画面が表示されます。



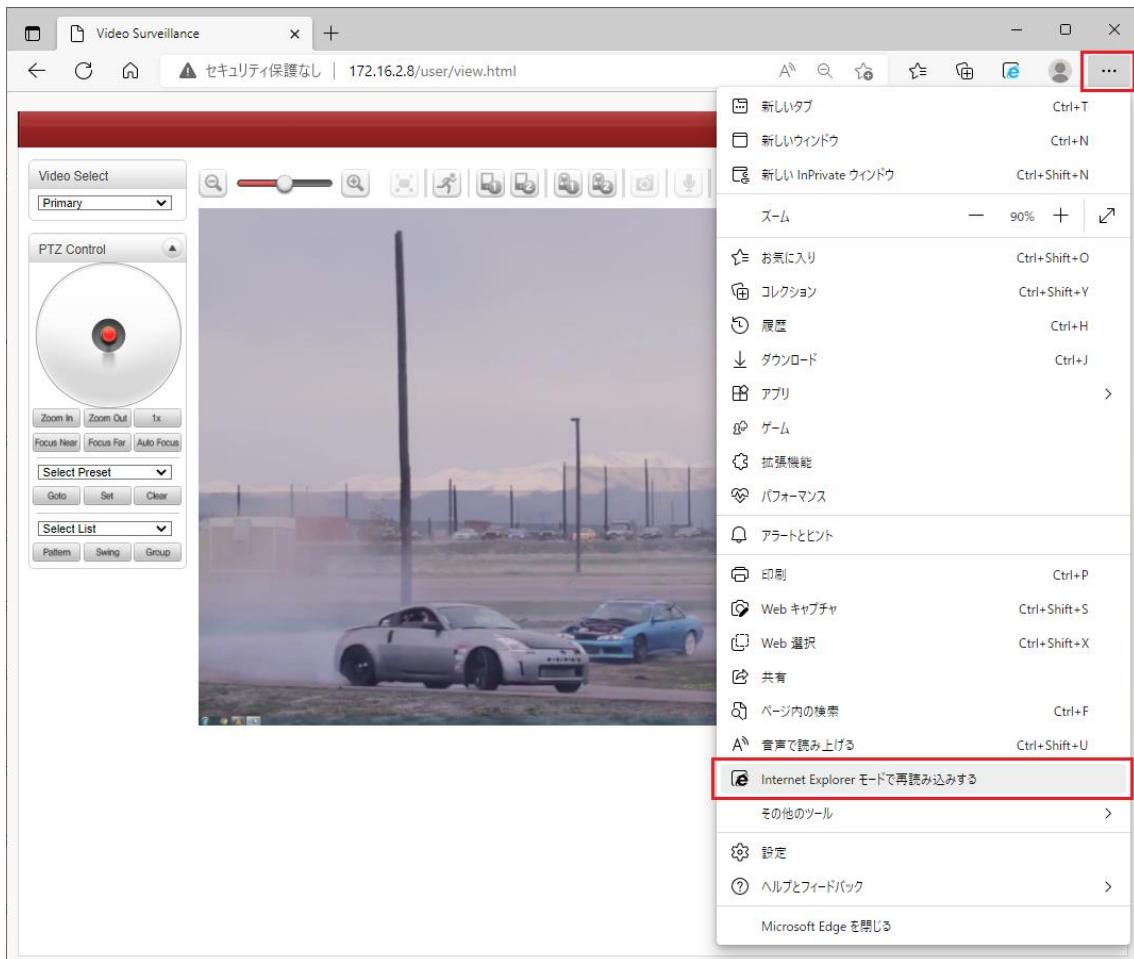
- Internet Explorer モード (IE モード)

設定方法

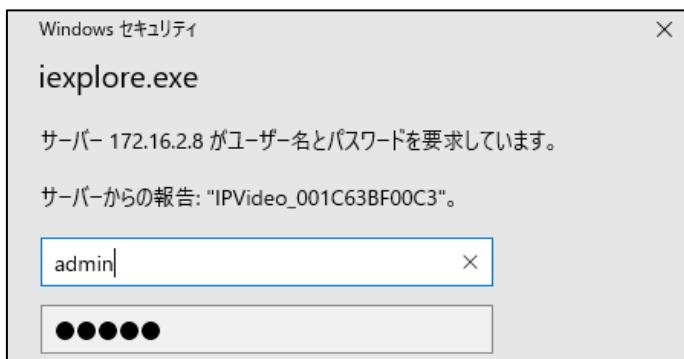
1. Microsoft Edge ブラウザで、上記のログイン手順に従って TCS-1700 にログインします。

2. 右上の「…」をクリックします。

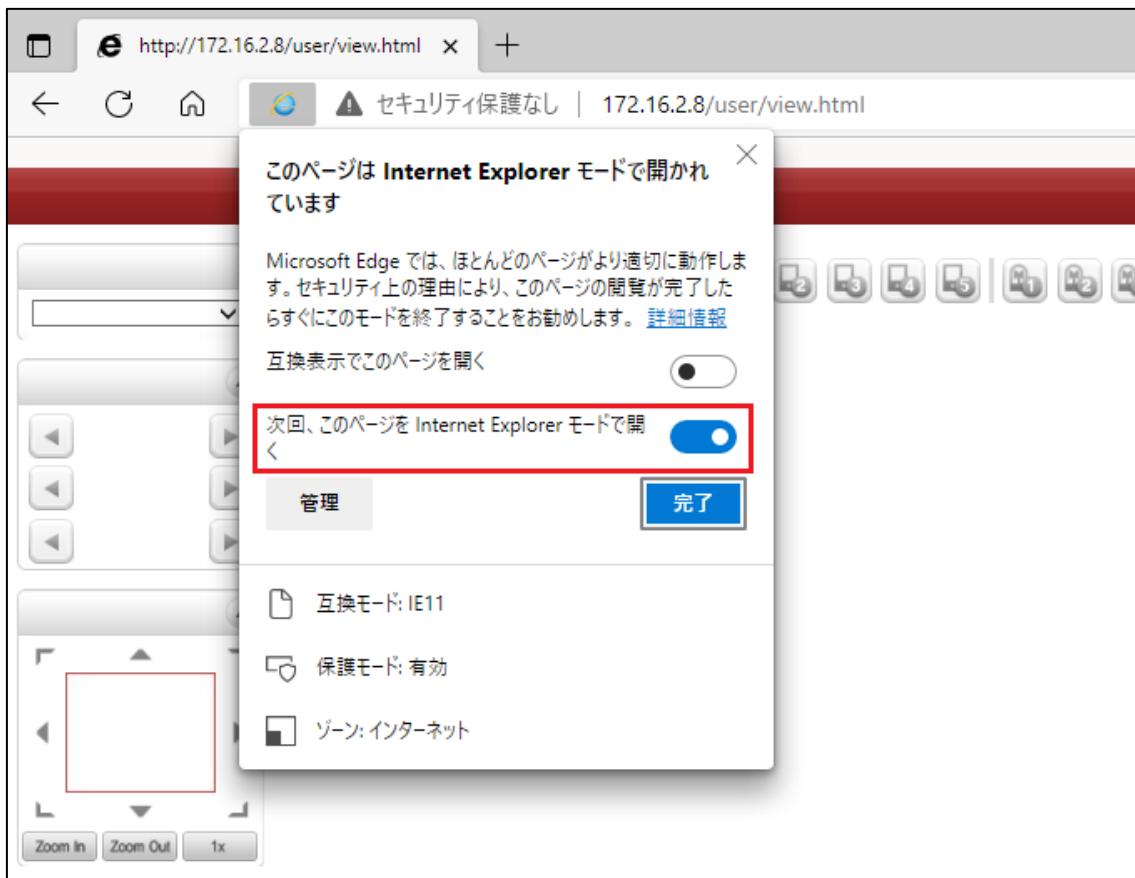
タブの中から「Internet Explorer モードで再度読み込みする」を選択します。



3. ユーザ名とパスワードを求められるので、再度ログインします。



4. 「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効にし、完了をクリックします。
次回以降 Edge でログインすると、自動的に Internet Explorer モードで開きます。



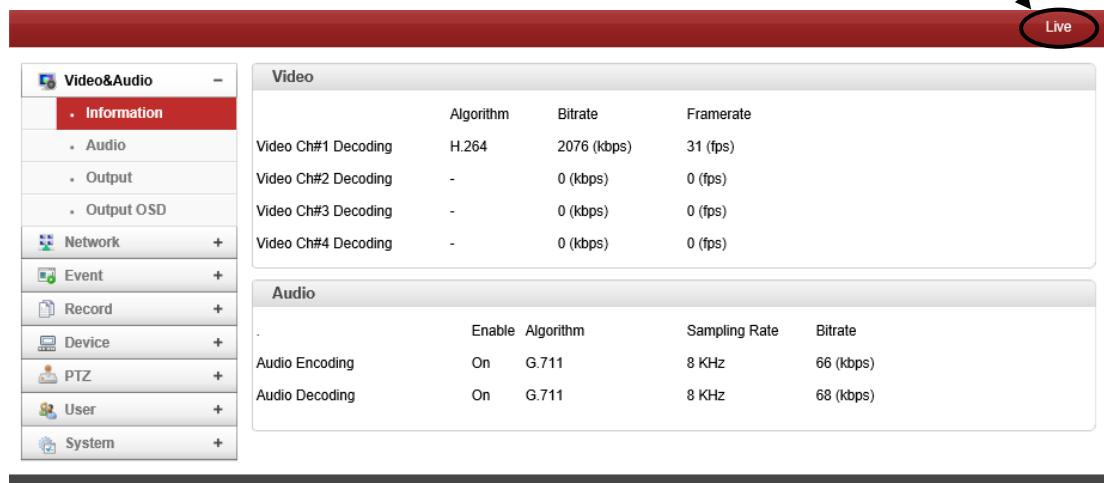
注意事項

Microsoft Edge の Internet Explorer モードでは、Live メニューの「File Record」および「Snapshot」はご使用になれません。必要な場合は、「Chrome」または「Edge の通常モード」でご使用ください。

7. メニューの切り替え方法

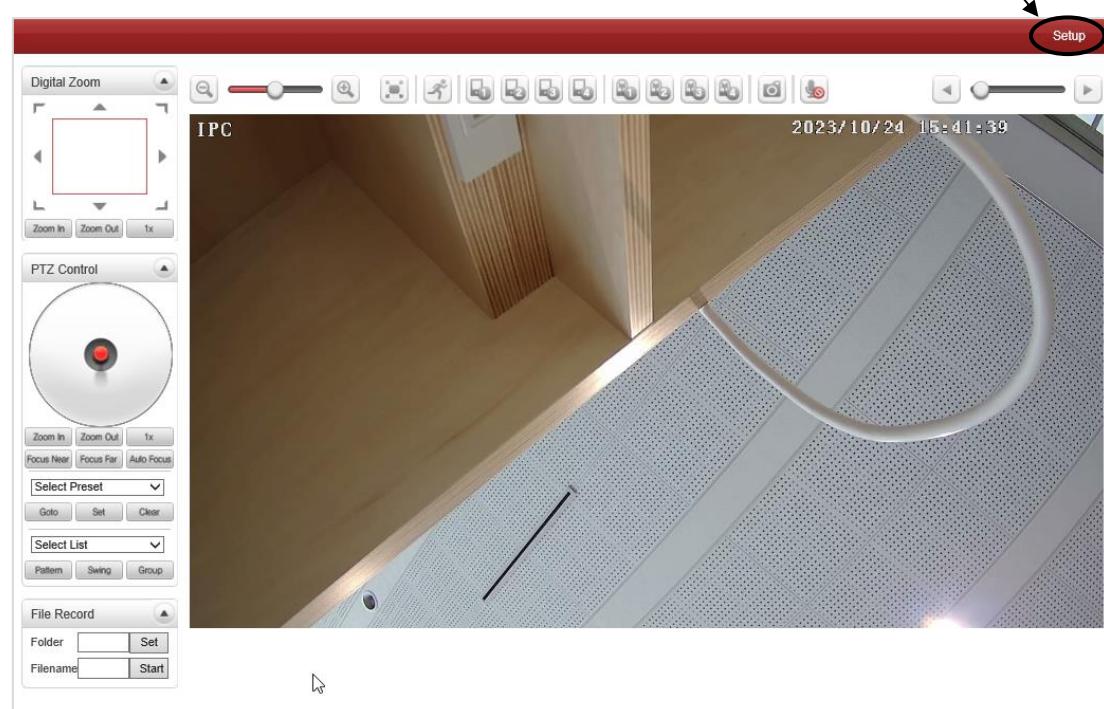
7.1. SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え

画面右上の”Live”をクリックします。



7.2. LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え

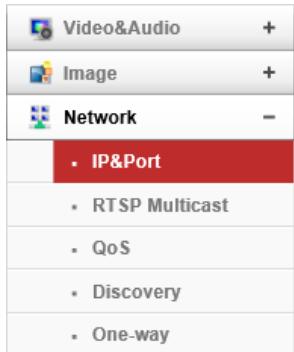
画面右上の”Setup”をクリックします。



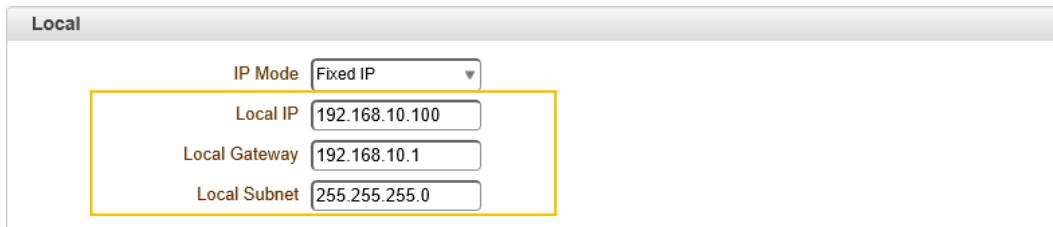
8. 基本設定

8.1. IP アドレスの変更

- Network の“IP&Port”をクリックします。



- Local IP (IP アドレス)、Local Gateway (デフォルトゲートウェイ)、Local Subnet (サブネットマスク)をそれぞれ入力します。

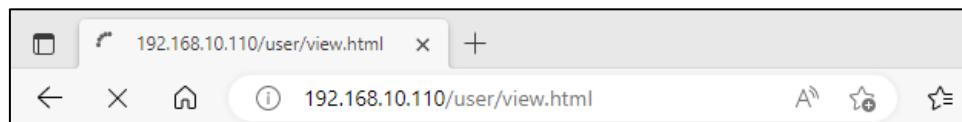


※IP Mode を DHCP にした場合、Local 設定は入力できません。

- 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

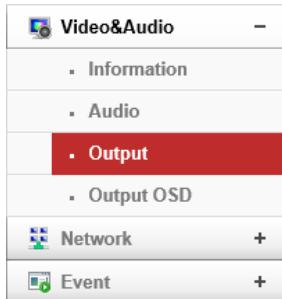
※本機は自動で再起動します。

- ブラウザのアドレスバーに新しく設定した IP アドレスを入力しログインします。

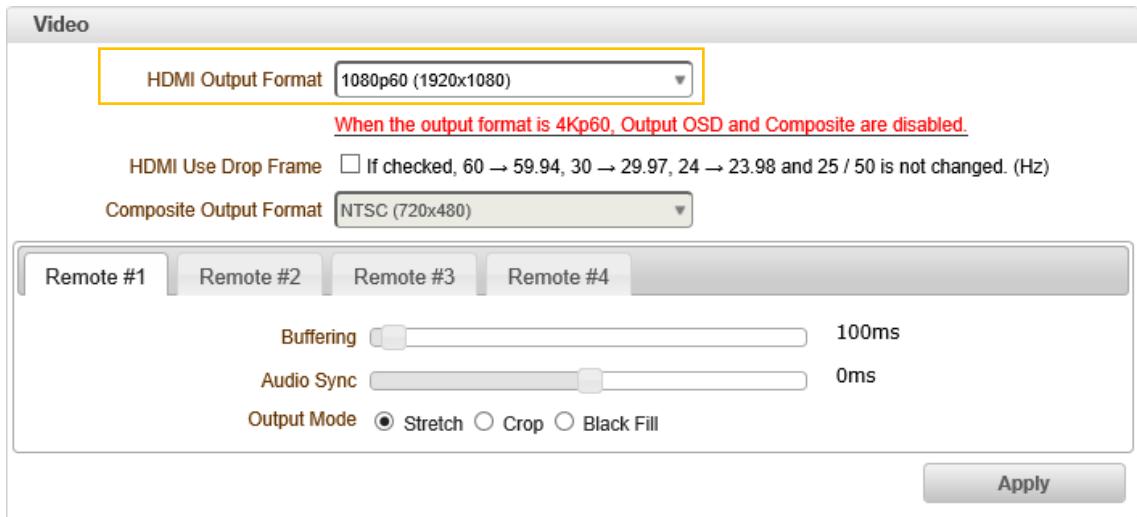


8.2. 出力インターフェースの変更

1. Video&Audio の Output をクリックします。



2. HDMI Output Format より、HDMI の出力形式を選択します。



3. 一度 **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

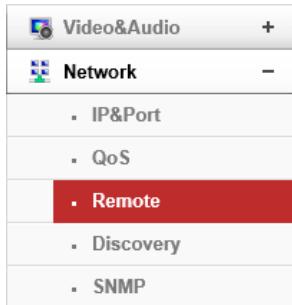
4. HDMI 及び Composite から出力する映像を单画面(Channel 1-4)、2分割(ch1+ch2/ch3+ch4)、4分割(Quad)ローテーション(Rotation)から選択します。
2 チャンネル以上表示する場合は、どのチャンネルから音声を出力させるのか設定します。



5. **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

8.3. 映像受信

Network の“Remote”をクリックします。



- TCS-9500(エンコーダ)からの映像受信

1. Remote Type は“Normal”を選択します。

Address に TCS-9500 の IP アドレス、Port には TCS-9500 で設定した Base Port 番号を入力します。

The screenshot shows the 'Remote #1' configuration page. At the top, tabs for 'Remote #1', 'Remote #2', 'Remote #3', and 'Remote #4' are visible, with 'Remote #1' being the active tab. The configuration fields are as follows:

- Remote Type:** Normal (highlighted with a yellow box)
- Media Protocol:** TCP
- Address:** 192.168.10.100 (highlighted with a yellow box)
- Port:** 2222 (highlighted with a yellow box)
- Remote Channel:** Channel#1
- Use Streaming Server:** Off
- SS IP Address:** 192.168.10.22
- SS Port:** 2222
- ID:** (empty field)
- Password:** (empty field)
- Overlapped Connection:** Enable (Keep previous connection until new connection is established.)

※エンコーダの Base port は、Network>IP&Port>Port に設定されています。

2. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

※“Remote”にて映像受信を設定すると、画面表示していない場合もバックグラウンドでストリームを受信し続けます。

- RTSP 映像受信

1. Remote Type は RTSP を選択します。

Address に RTSP ストリームの URL、Port に RTSP のポート番号を入力します。

※上図のように Address にポート番号が含まれている場合、Port は 0 を入力します。

2. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

- ONVIF 映像受信

1. Remote Type は ONVIF を選択します。

ONVIF 対応カメラの IP アドレスとポート番号、カメラの ID/Password を入力します。

すべて入力し **Get Profile List** をクリックすると、Profile がされ表示されるので適した Profile を選択し取得します。

2. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

8.4. ポート開放の設定

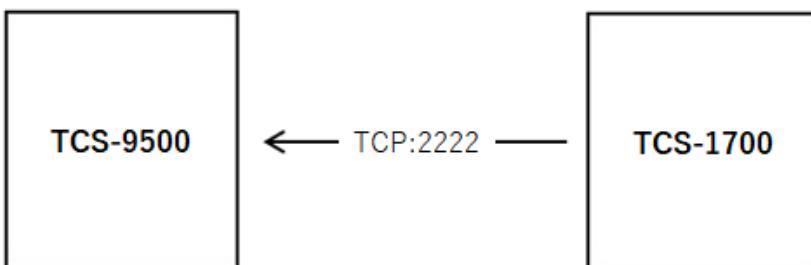
WAN 経由で通信を行う場合は、ルータでポートフォワーディングの設定を行う必要があります。

※下記の例は、TCS-1700 のポート設定が初期状態の場合のものです。

- Normal (TCS-9500 → TCS-1700)

・TCP Port 2222 : TCS-9500 ← TCS-1700

エンコーダ側のルータで TCP:2222 をポートフォワーディングします。



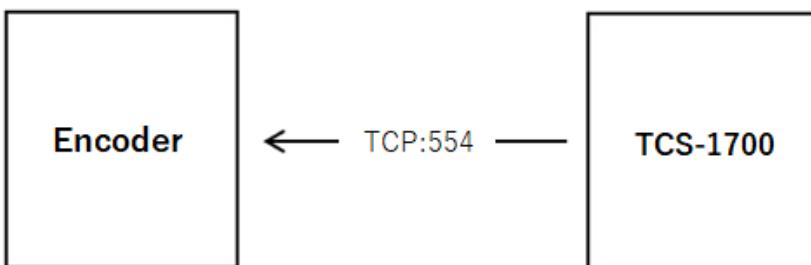
※WAN 経由の場合、Media Protocol では TCP を選択してください。(デコーダ側の設定)

※ポート番号は、Network > IP&Port > Port の Base Portで変更可能です。

- RTSP (Encoder → TCS-1700)

・TCP Port 554 : Encoder ← TCS-1700

エンコーダ側のルータで TCP:554 をポートフォワーディングします。

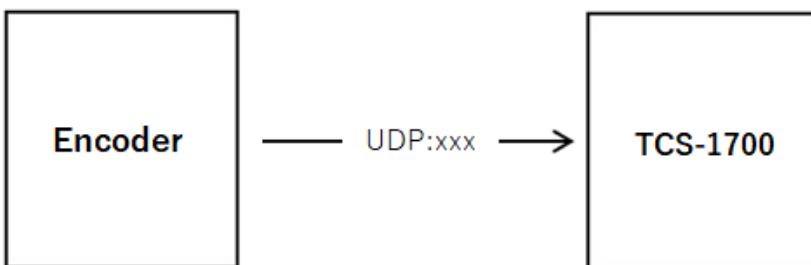


※ポート番号は、Network > IP&Port > Port の RTSP Portで変更可能です。

- MPEG-TS (Encoder → Decoder)

・UDP Port xxxx : Encoder → TCS-1700

デコーダ側のルータで、指定した UDP ポートをポートフォワーディングします。

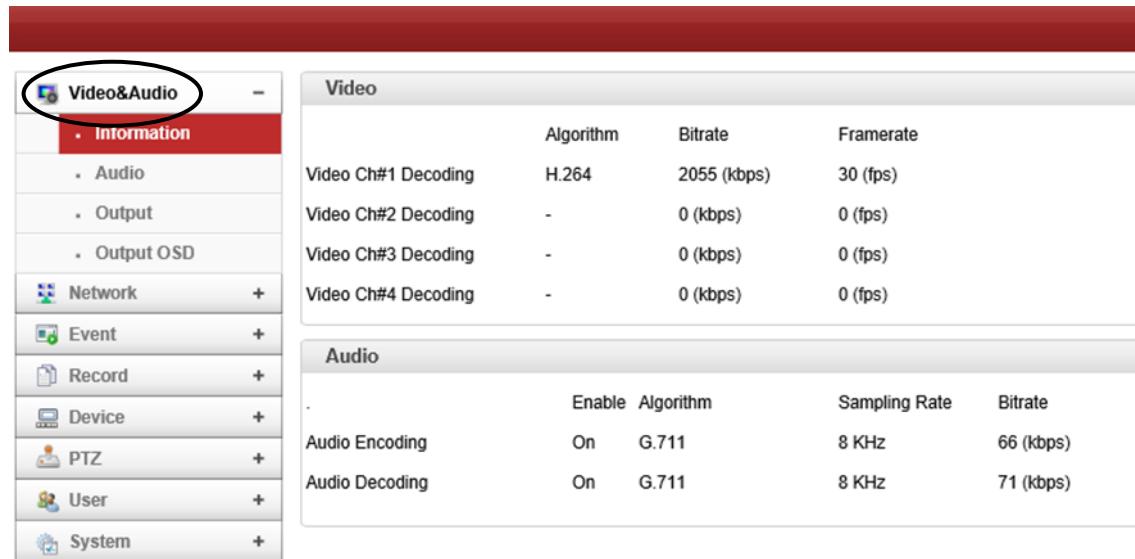


※ ポートの指定は、Network > One-way の MPEG-TS 設定にて行います。

9. Setup メニュー

9.1. Video&Audio

SETUP メニュー画面から”Video&Audio”タブをクリックします。



The screenshot shows the TCS-1700 setup menu interface. On the left is a sidebar with various configuration tabs: Information (selected), Audio, Output, Output OSD, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The main panel is divided into two sections: Video and Audio. The Video section contains four entries: Video Ch#1 Decoding (Algorithm: H.264, Bitrate: 2055 (kbps), Framerate: 30 (fps)), Video Ch#2 Decoding (Algorithm: -, Bitrate: 0 (kbps), Framerate: 0 (fps)), Video Ch#3 Decoding (Algorithm: -, Bitrate: 0 (kbps), Framerate: 0 (fps)), and Video Ch#4 Decoding (Algorithm: -, Bitrate: 0 (kbps), Framerate: 0 (fps)). The Audio section contains two entries: Audio Encoding (Enable: On, Algorithm: G.711, Sampling Rate: 8 KHz, Bitrate: 66 (kbps)) and Audio Decoding (Enable: On, Algorithm: G.711, Sampling Rate: 8 KHz, Bitrate: 71 (kbps)).

➤ Video&Audio メニュー

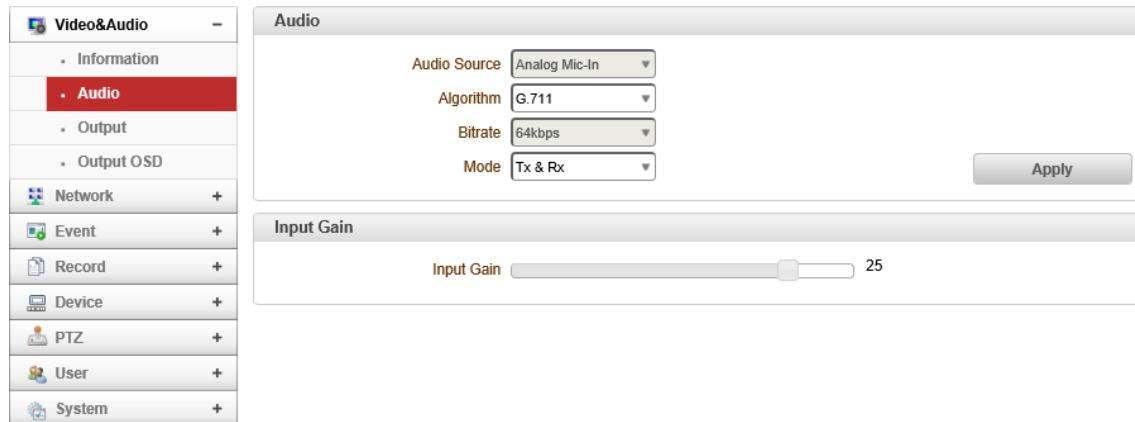
表示	説明
Information	ビデオとオーディオに関するステータスを表示します。
Audio	オーディオ入力の設定を行います。
Output	ビデオとオーディオの出力設定、ディスプレイの設定を行います。
Output OSD	ディスプレイに表示させる OSD の設定を行います。

9.1.1. Information

The screenshot shows the software's navigation bar on the left with various icons and sections like Video & Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'Information' section is currently selected. On the right, there are two main tables: 'Video' and 'Audio'. The 'Video' table has four rows for Video Ch#1 to Ch#4 Decoding, showing Algorithm (H.264 or -), Bitrate (e.g., 1971 (kbps) for Ch#1), and Framerate (e.g., 30 (fps)). The 'Audio' table has two rows for Audio Encoding and Audio Decoding, showing Enable (On), Algorithm (G.711), Sampling Rate (8 KHz), and Bitrate (66 (kbps) and 68 (kbps) respectively).

表示	説明
Video	各チャンネル登録したビデオソースのデコーディング情報を表示します。
Audio	オーディオのエンコーディング・デコーディング情報を表示します。

9.1.2. Audio



- **Audio**



表示	説明
Audio Source	オーディオソースを選択します。 Analog Mic-In : AUDIO IN から音声を入力します。
Algorithm	G.711 または AAC を選択します。※1
Sampling rate	Algorithm で AAC を選択した場合、サンプリング周波数を設定します。 [32kHz/44.1kHz/48kHz]
Bitrate	ビットレートを設定します。[32bps/64kbps/128kbps/192kbps]※2
Mode	オーディオ動作モードを Off(送受信なし)、Tx-only(送信のみ)、Rx-only(受信のみ)、Tx & Rx(送受信)から選択します。

※1 双方向音声時の Algorithm : Normal(G.711/AAC)、SRT(AAC のみ)

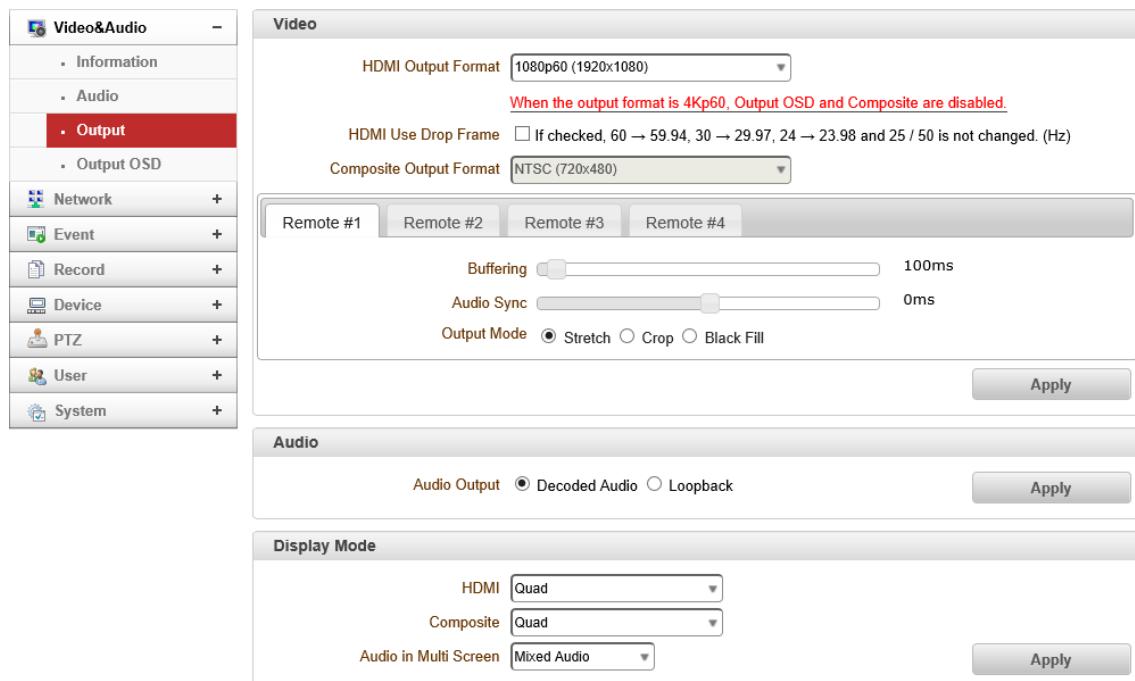
※2 32kbps/64kbps は未サポートのためご使用なれません。

- **Input Gain**

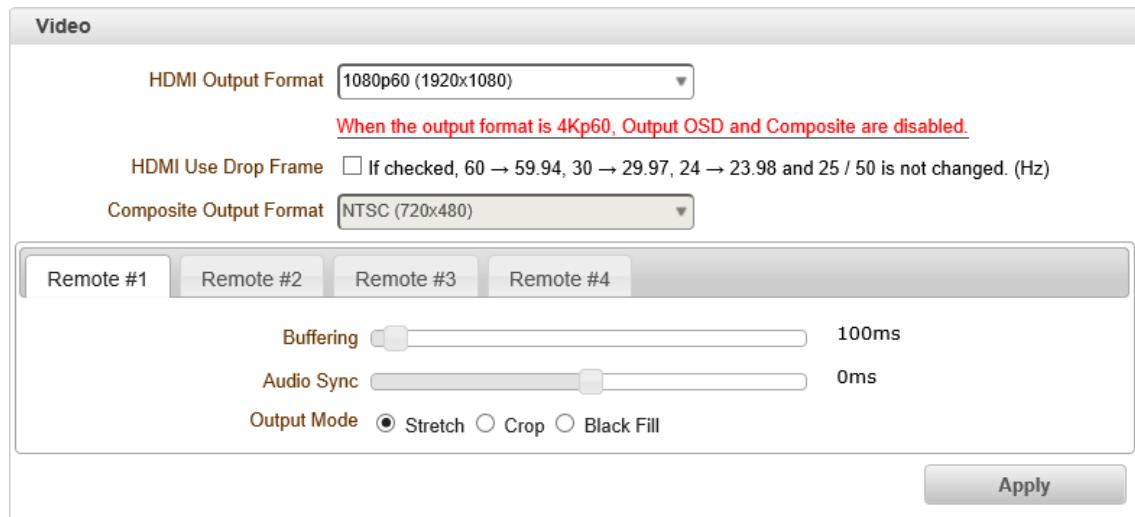
AUDIO IN から入力した音声に対して、音量調節を行います。[0–31]



9.1.3. Output



● Video



表示	説明
HDMI Output Format	HDMI の出力解像度を選択します。 ※4Kp60 で出力する場合、Output OSD と Composite は無効になります。
HDMI Use Drop Frame	未サポートのためご使用になれません。
Composite Output Format	VIDEO OUT(Composite)の出力解像度を表示します。
Buffering	各チャンネル(Remote#1-4)のバッファの調整を行います。

	値を大きくすると、遅延を増やしてより滑らかな映像になります。
Audio Sync	映像信号と音声信号が同期しない場合があります。 映像信号と同期できるように音声遅延時間を調整します。
Output Mode	ディスプレイの表示モードを選択します。 Stretch : アスペクト比を保持せず、ディスプレイメー杯に表示します。縦や横に伸びた映像になる場合があります。 Crop : 出力解像度に従ってトリミングを行います。映像の縦や横が切れる場合があります。 Black Fill : 出力解像度のアスペクト比を保持し、余分は黒く表示します。

- Audio

Audio

Audio Output Decoded Audio Loopback Apply

表示	説明
Audio Output	オーディオの出力方式を選択します。 Decoded Audio : エンコーダ(LAN 経由)から受信した音声を、LINE OUT と HDMI OUT から出力します。 デコーダの LINE IN から入力した音声はエンコーダに送信されます。※1 Loopback : デコーダの LINE IN から入力した音声をループバックし、LINE OUT と HDMI OUT から出力します。

※1 デコーダ→エンコーダの音声は、Normal(G.711/AAC)と SRT(AAC)をサポートしています。

- Display Mode

Display Mode

HDMI Quad
Composite Quad
Audio in Multi Screen Mixed Audio Apply

表示	説明
HDMI	HDMI OUT から出力するビデオソースの表示方法を選択します。 Channel 1~4 : 登録されているチャネルでローテーション再生を行います。 再生時間は 5~60 秒で設定します。 Quad : 全てのチャンネルを 4 分割で表示します。 Vertical Dual(ch1+ch2) : 左に ch1、右に ch2 の 2 分割で表示します。 Vertical Dual(ch3+ch4) : 左に ch3、右に ch4 の 2 分割で表示します。 Horizontal Dual(ch1+ch2) : 上に ch1、下に ch2 の 2 分割で表示します。

	Horizontal Dual(ch3+ch4)：上に ch3、下に ch4 の 2 分割で表示します。
Composite	VIDEO OUT から出力するビデオソースの表示方法を選択します。 HDMI の表示方法をご参照ください。
Audio in Multi Screen	2つ以上のビデオソースを出力する場合、音声出力の設定を行います。 Mixed Audio : 表示されている全てのチャンネルから音声を出力します。 Mute Audio : 音声出力を無効にします。 Channel 1-4 : 選択したチャンネルの音声を出力します。

9.1.4. Output OSD

User-defined Burn-in OSD						
No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1	SRT	5	5	50	Green	<input checked="" type="checkbox"/>
2		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
3		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
4		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
5	Disconnect	450	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
6	Video Loss	450	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
7	No Data	480	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
8	Try Connecting	420	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>

Disable the User OSD which is mapping with Operation OSD.
Reserved keyword will be replaced.(%RA% -> Remote Address)

Operation OSD						
	Wait Time	Display	User OSD			
At Disconnect	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#5			
At Video Loss	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#6			
At No Data	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#7			
At Try Connecting	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#8			

Current State OSD						
State OSD	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable	
Decoding State	5	950	50	White	<input checked="" type="checkbox"/>	
Recording State	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Local SystemID	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Remote SystemID / List Name	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Time	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	

User-Bitmap OSD						
OSD Enable	Off					

Information OSD						
Enable	Off					

- User-defined Burn-in OSD

User-defined Burn-in OSD

No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1	SRT	5	5	50	Green	<input checked="" type="checkbox"/>
2		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
3		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
4		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
5	Disconnect	450	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
6	Video Loss	450	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
7	No Data	480	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
8	Try Connecting	420	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>

Disable the User OSD which is mapping with Operation OSD.
Reserved keyword will be replaced.(%RA% -> Remote Address)

表示	説明
String	ディスプレイ上に表示させる任意の文字列を入力します。(最大 20 文字)
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Color	フォントの色を設定します。
Enable	常にディスプレイ上に表示させる場合は、Enable にチェックを入れます。

- Operation OSD

Disconnect やビデオロス等が発生したときの、ディスプレイ状態、OSD 表示の設定を行います。

Operation OSD

	Wait Time	Display	User OSD
At Disconnect	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#5
At Video Loss	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#6
At No Data	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#7
At Try Connecting	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#8

表示	説明
Wait Time	Action があったときに、OSD を表示するまでの時間を設定します。
Display	Action があったときの画面の状態を選択します。 Freeze : 映像の最後のフレームを表示させます。 Black Screen : 黒い画面を表示させます。 Blue Screen : 青い画面を表示させます。
User OSD	Action が起きた際 OSD を表示する場合は、“User-defined Burn-in OSD”で設定した中から選択します。※Enable のチェックは外します。

- Current State OSD

現在のステータス情報を OSD 表示します。

Current State OSD					
State OSD	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
Decoding State	5	950	50	White ▾	<input checked="" type="checkbox"/>
Recording State	0	0	30	White ▾	<input type="checkbox"/>
Local SystemID	0	0	30	White ▾	<input type="checkbox"/>
Remote SystemID / List Name	0	0	30	White ▾	<input type="checkbox"/>
Time	0	0	30	White ▾	<input type="checkbox"/>

表示	説明
OSD State	ステータス情報を表示します。 Decoding State(圧縮方式・ビットレート・フレームレートのデコード情報)、 Recording State(録画容量)、Local System ID(デコーダ本機の ID)、 Remote System ID/List Name(エンコーダの ID※1 または Decode List のリスト名)、Time(現在の時刻)
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Color	フォントの色を設定します。
Enable	常に画面に表示する場合、チェックを入れます。

※1 Remote Type を Normal で接続したときのみ、エンコーダの System ID が表示されます。

- User-Bitmap OSD

ビットマップ表示の設定を行います。

User-Bitmap OSD	
OSD Enable	On ▾
X-Coord(0~1000)	0
Y-Coord(0~1000)	0
Current Bitmap	
Upload Bitmap	<input type="button" value="参照..."/>
	<input type="button" value="Upload Bitmap"/>

表示	説明
OSD Enable	ビットマップの有効(On)/無効(Off)を選択します。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Current Bitmap	アップロードしたビットマップを表示します。

Upload Bitmap	参照...をクリックして、ビットマップを選択します。Upload Bitmap をクリックしてアップロードに成功した場合、Current Bitmap に画像が表示されます。 ※使用できるビットマップは 24bit のみです。
----------------------	--

- Information OSD

本機の情報(ファームウェアバージョンや IP アドレス等)について表示を行います。

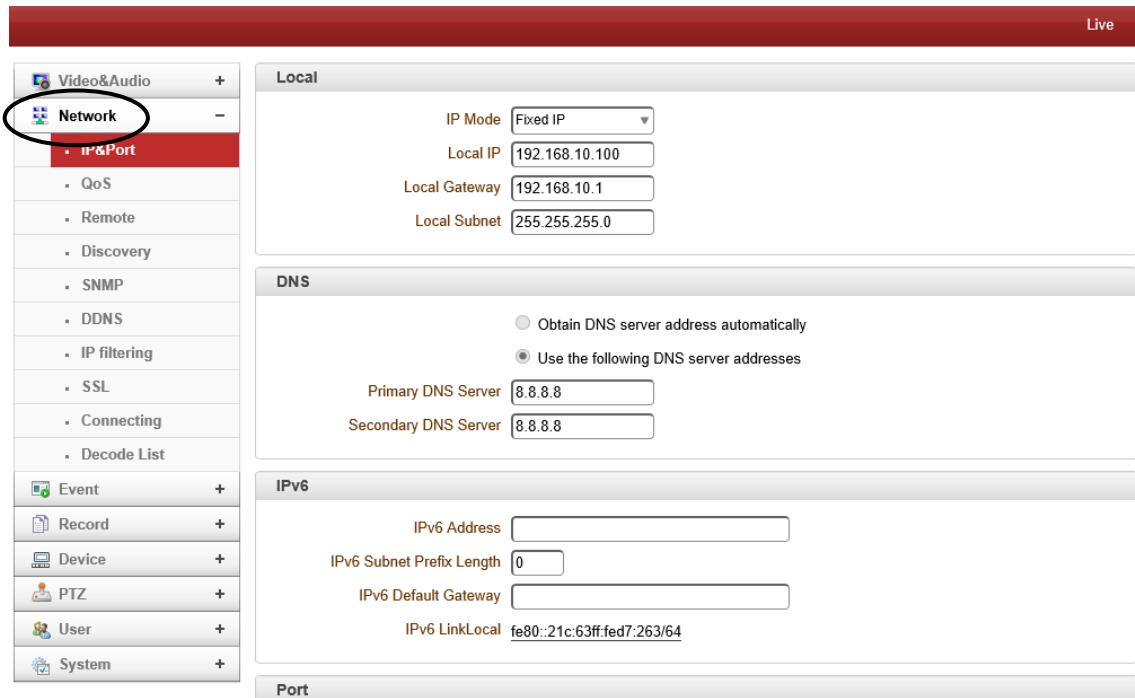
Information OSD

Enable	On
X-Coord(0~1000)	200
Y-Coord(0~1000)	300
Font Size(12~84)	30
Font Color	White
Window Color	Black

表示	説明
Enable	Information OSD の有効(On)/無効(Off)を設定します。 Model、Version、IP、Remote Type、Remote Address を表示します。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Font Color	フォントの色を設定します。
Window Color	バックのウィンドウの色を設定します。

9.2. Network

SETUP メニュー画面から"Network"タブをクリックします。



➤ Network メニュー

表示	説明
IP&Port	IP アドレスやポート番号、MTU サイズなどの設定を行います。
QoS	QoS を使用し、優先度の設定を行います。
Remote	デコードに関する設定を行います。
Discovery	UPnP、Zeroconf、WS Discovery の設定を行います。
SNMP	SNMP の設定を行います。
DDNS	DDNS の設定を行います。
IP filtering	データのやり取りを行う相手の制限を行います。
SSL	SSL の設定を行います。
Connecting	現在システムに接続しているクライアントを表示します。
Decode List	デコード対象を複数台登録し、自動巡回表示を行います。

9.2.1. IP&Port

Video&Audio +

Network -

- **IP&Port**
- QoS
- Remote
- Discovery
- SNMP
- DDNS
- IP filtering
- SSL
- Connecting
- Decode List

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

Local

IP Mode	Fixed IP
Local IP	192.168.10.100
Local Gateway	192.168.10.1
Local Subnet	255.255.255.0

DNS

Obtain DNS server address automatically
 Use the following DNS server addresses

Primary DNS Server	8.8.8.8
Secondary DNS Server	8.8.8.8

IPv6

IPv6 Address	<input type="text"/>
IPv6 Subnet Prefix Length	0
IPv6 Default Gateway	<input type="text"/>
IPv6 LinkLocal	fe80::21c:63ff:fed7:263/64

Port

Base Port	<input type="text"/> 2222	(1025~65535)
HTTP Port	<input type="text"/> 80	(80, 1025~65535)
HTTPS Port	<input type="text"/> 443	(443, 1025~65535)
RTSP Port	<input type="text"/> 554	(554, 1025~65535)
Audio Receive Port	<input type="text"/> 2280	(1025~65535)

MTU Size

MTU Size	<input type="text"/> 1500	(default:1500, 68~)
----------	---------------------------	---------------------

Multicast

Multicast IP	<input type="text"/> 224.10.0.0	(224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
TTL	<input type="text"/> 64	(1~255)

Apply

- Local

Local

IP Mode	Fixed IP
Local IP	192.168.10.100
Local Gateway	192.168.10.1
Local Subnet	255.255.255.0

表示	説明
IP Mode	Fixed IP(手動設定)または DHCP(自動取得)を選択します。
Local IP	IP アドレスを設定します。 初期値 : 192.168.10.100
Local Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。 初期値 : 192.168.10.1
Local Subnet	サブネットマスクを設定します。 初期値 : 255.255.255.0

※Local 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- DNS

DNS

<input type="radio"/> Obtain DNS server address automatically	
<input checked="" type="radio"/> Use the following DNS server addresses	
Primary DNS Server	8.8.8.8
Secondary DNS Server	8.8.8.8

表示	説明
Obtain DNS Server Address automatically	IP モードが DHCP の場合、DNS サーバのアドレスを自動取得します。
Use the following DNS server address	Primary 及び Secondary DNS サーバのアドレスを手動で設定します。
Primary DNS Server	Primary の DNS サーバのアドレスを入力します。
Secondary DNS Server	Secondary の DNS サーバのアドレスを入力します。

※DNS 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- IPv6

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

IPv6

IPv6 Address

IPv6 Subnet Prefix Length

IPv6 Default Gateway

IPv6 LinkLocal fe80::21c:63ff:fed7:263/64

- Port

Port

Base Port	2222 (1025~65535)
HTTP Port	80 (80, 1025~65535)
HTTPS Port	443 (443, 1025~65535)
RTSP Port	554 (554, 1025~65535)
Audio Receive Port	2280 (1025~65535)

表示	説明
Base Port	ベースポート番号を入力します。 初期値 : 2222[1025~65535] ※変更した場合、本機は自動で再起動を行います。
HTTP Port	Web ベースの接続に使用する HTTP ポート番号を入力します。 初期値 : 80[1025~65535]
HTTPS Port	HTTPS ポート番号を入力します。 初期値 : 443[1025~65535]
RTSP Port	RTSP ベースの接続に使用する RTSP ポート番号を入力します。 初期値 : 554[1025~65535]
Audio Receive Port	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

- MTU Size

MTU Size	
表示	説明
MTU Size	一度に送信できる最大データ量を設定します。 初期値 : 1500

※MTU Size 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

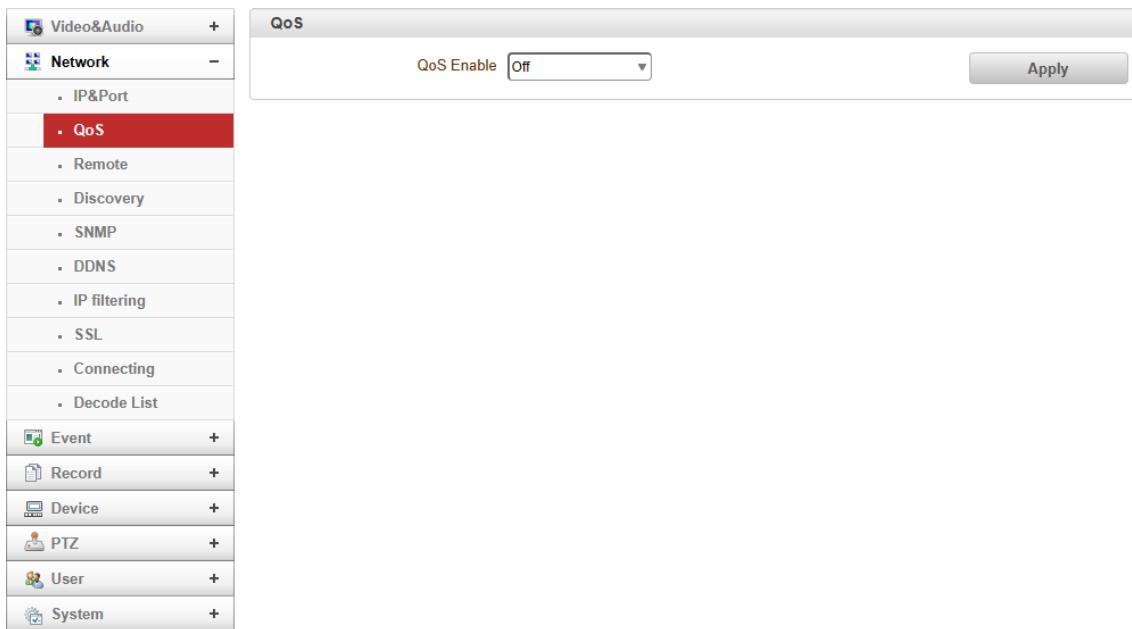
- Multicast

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

Multicast	
Multicast IP	224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
TTL	64 (1~255)

※Multicast 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

9.2.2. QoS



- QoS

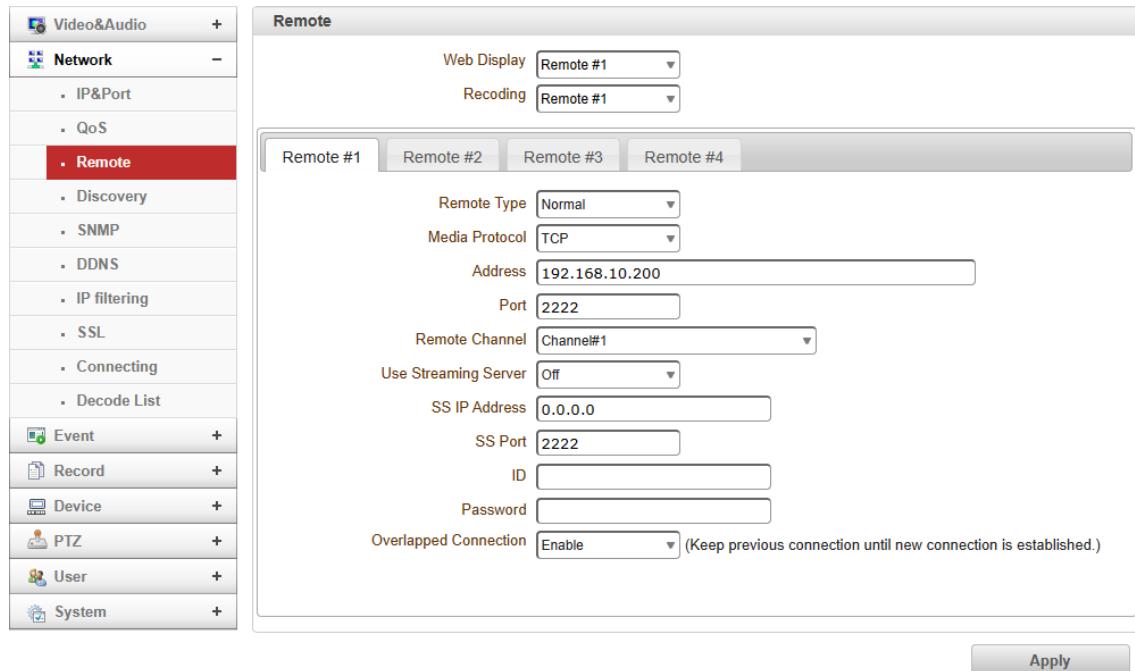
QoS

QoS Enable: (▼)

DSVP: (0~63)

表示	説明
QoS Enable	QoS を有効にする場合、On にします。
DSVP	DSVP の値を入力します。[0~63]

9.2.3. Remote



- Remote

Remote

Web Display	Remote #1
Recoding	Remote #2

表示	説明
Web Display	Web ブラウザの Live メニューに表示させるビデオソースを Remote #1-4 から選択します。 VLC 等に【rtsp://<Decoder IP>:<RTSP Port>/video1】を入力すると、選択した Remote 番号のビデオソースを表示します。
Recoding	録画を行うビデオソースを Remote #1-4 から選択します。
Remote #1-4	ビデオソースを最大 4 つ設定できます。 各ビデオソースの説明は以下に示します。

※“Remote”にて映像受信を設定すると、画面表示していない場合もバックグラウンドでストリームを受信し続けます。

➤ Normal

TCS-9500(エンコーダ)とTCS-1700(デコーダ)の接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type	Normal		
Media Protocol	TCP		
Address	192.168.10.200		
Port	2222		
Remote Channel	Channel#1		
Use Streaming Server	Off		
SS IP Address	0.0.0.0		
SS Port	2222		
ID			
Password			
Overlapped Connection	Enable	(Keep previous connection until new connection is established.)	

表示	説明
Remote Type	Normal を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	接続する TCS-9500 の IP アドレスを入力します。
Port	接続する TCS-9500 のベースポート番号を入力します。
Remote Channel	エンコーダから受信するチャンネルを選択します。 TCS-9500 は Channel#1(Secondary#1-3 含む)のみ選択できます。
Use Streaming Server	本機能は未サポートのため、ご使用になられません。
SS IP Address	
SS Port	
ID	
Password	
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

※双方向音声対応 (Algorithm は G.711/AAC 対応)

➤ RTSP

RTSP プロトコルによる接続

表示	説明
Remote Type	RTSP を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	RTSP ストリーム URL を入力します。
Port	接続するエンコーダの RTSP ポート番号を入力します。 ※RTSP ストリーム URL の中で、ポート番号を指定している場合は 0 を入力します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

上図の Address は TCS-9500 の RTSP 認証が有効である場合の URL を入力しています。

rtsp://<ID>:<Password>@<IP address>:<Port>/video1

RTSP 認証が無効の場合は、ID と Password の入力を省略できます。

➤ RTP

RTP プロトコルによる接続

表示	説明
Remote Type	RTP を選択します。
Media Protocol	UDP、Multicast の中から選択します。
Address	RTP ストリーム URL を入力します。 <i>rtp://(ID):(Password)@(IP address)/video1</i>
Port	接続するエンコーダの RTP ポート番号を入力します。
Video Resolution	エンコード解像度と一致させる必要があります。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

➤ MPEG-TS(UDP)

MPEG-TS によるユニキャスト接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="button" value="MPEG-TS"/> Address <input type="text"/> Port <input type="text" value="50000"/> Overlapped Connection <input type="button" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

MPEG-TS によるマルチキャスト接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="button" value="MPEG-TS"/> Address <input type="text" value="239.1.1.1"/> Port <input type="text" value="60000"/> Overlapped Connection <input type="button" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

表示	説明
Remote Type	MPEG-TS を選択します。
Address	ユニキャストの場合は空白にします。(エンコーダで宛先 IP アドレス指定) マルチキャストの場合は、マルチキャストアドレスを入力します。
Port	エンコーダと共にポート番号を入力します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

➤ ONVIF

ONVIF 対応の IP カメラと接続

Remote Type: ONVIF
 Media Protocol: TCP
 Address: 192.168.10.101
 Port: 80
 ID: admin
 Password: *****
 Profile: profile1
 Overlapped Connection: Enable (Keep previous connection until new connection is established.)
Authentication may fail if the time setting of the device does not match up with the camera being connected.
 Get Profile List

表示	説明
Remote Type	ONVIF を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	IP カメラの IP アドレスを入力します。
Port	IP カメラの ONVIF で使用するポート番号を入力します。
ID	IP カメラのログイン名を入力します。
Password	IP カメラのログインパスワードを入力します。
Profile	デコードするストリームのプロファイルを選択します。 Get Profile List ボタンをクリック後に、表示されます。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。
Get Profile List	“Get Profile List”をクリックすると、ストリームのプロファイルを取得できます。

➤ RTMP

RTMP(Real Time Messaging Protocol) サーバを介して接続

Remote #1 Remote #2 Remote #3 Remote #4

Remote Type: RTMP

Address: Destination IP/treamName

Token: _____

Overlapped Connection: Enable (Keep previous connection until new connection is established.)

表示	説明
Remote Type	RTMP を選択します。
Address	RTMP ストリーミングサーバの Destination IP(配信サーバ名)/Stream Name(配信ストリーム名)を入力します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

➤ SRT

SRT(Secure Reliable Transport)は、映像データの暗号化、パケットロスのリカバリ機能等により、不安定なネットワーク環境でも安全でロスに強い映像伝送を可能にします。

エンコーダ : Listener / TCS-1700 : Caller による接続

表示	説明
Remote Type	SRT を選択します。
Mode	Caller を選択します。 エンコーダが Listener である場合、デコーダは Caller を選択します。
Address	宛先 IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
Port	Listener と Caller で共通のポート番号を設定します。
Secure	AES-128 または AES-256 を選択し、AES 暗号化を有効にできます。
Passphrase	エンコーダとデコーダで、暗号化の共通のキーを入力してください。 (AES-128 の場合は 10-16 文字、AES-256 の場合は 10-32 文字)
Latency	レイテンシ(遅延時間)を設定します。 パケットロス発生時にリカバリに割り当てる遅延時間の確保を推奨します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

※双方向音声対応 (Algorithm は AAC のみ対応)

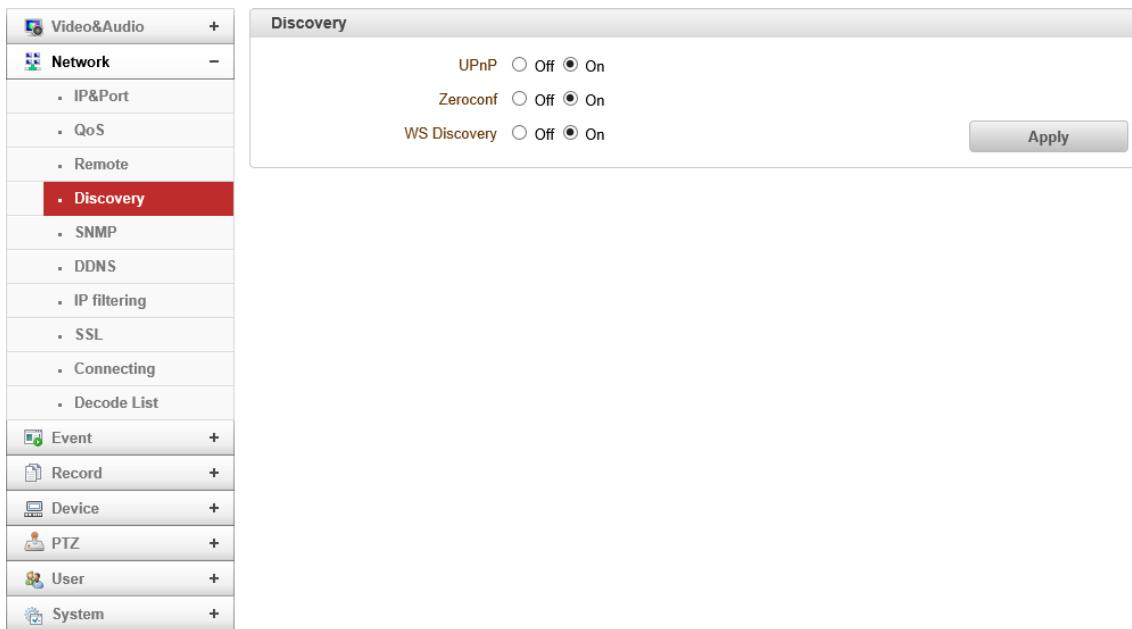
エンコーダ : Caller / TCS-1700 : Listener による接続

Remote #1 Remote #2 Remote #3 Remote #4

Remote Type	SRT
Mode	Listener
Port	12345
Secure	AES-256
Passphrase	*****
Latency	250 ms (60 ~ 8000)
Overlapped Connection	Enable (Keep previous connection until new connection is established.)

表示	説明
Remote Type	SRT を選択します。
Mode	Listener を選択します。 エンコーダが Caller である場合、デコーダは Listener を選択します。
Port	Listener と Caller で共通のポート番号を設定します。
Secure	AES-128 または AES-256 を選択し、AES 暗号化を有効にできます。
Passphrase	エンコーダとデコーダで、暗号化の共通のキーを入力してください。 (AES-128 の場合は 10-16 文字、AES-256 の場合は 10-32 文字)
Latency	レイテンシ(遅延時間)を設定します。 パケットロス発生時に再送要求を行うための遅延時間の確保を推奨します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

9.2.4. Discovery



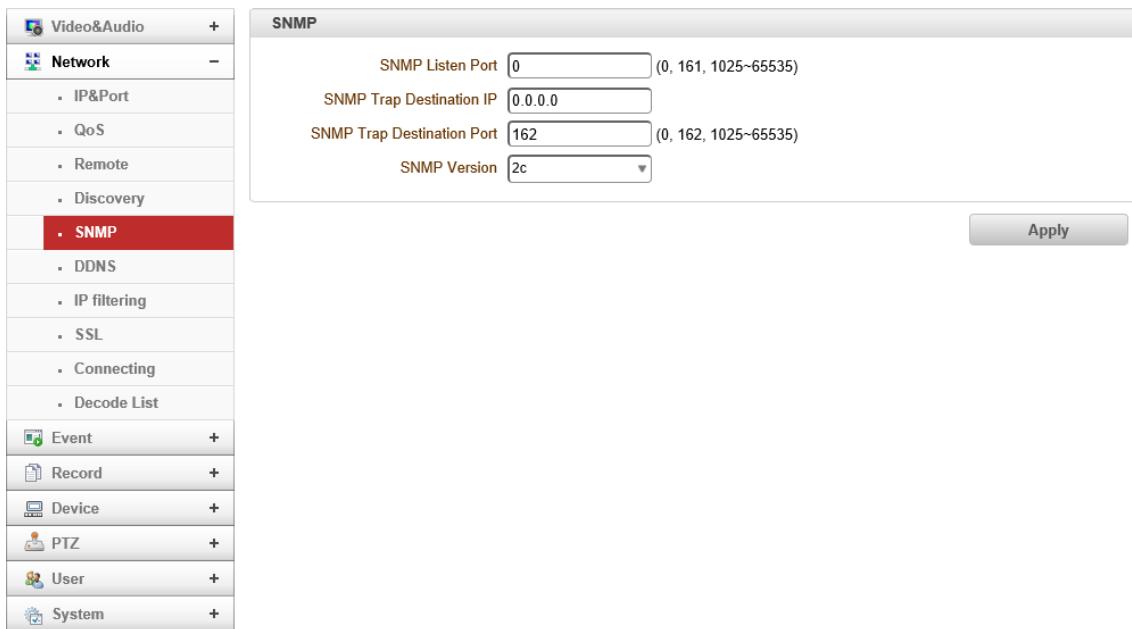
- **Discovery**



表示	説明
UPnP	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 ネットワーク探索機能によって本機を発見できるようになります。
Zeroconf	Zeroconf 機能の有効/無効を選択します。 ホスト名が割り当てられ、ホスト名を使用して本機にアクセスできるようになります。
WS Discovery	WS Discovery 機能の有効/無効を選択します。 Onvif をサポートしているクライアントからの検出ができるようになります。

※TCS-1700 が検出されない場合は、ファイアウォールを無効にしてください。

9.2.5. SNMP



- SNMP

This is a screenshot of the 'SNMP' configuration panel. It shows the same four configuration fields as the previous screenshot, with identical values: Listen Port 0, Trap Destination IP 0.0.0.0, Trap Destination Port 162, and Version 2c.

表示	説明
SNMP Listen Port	SNMP の待ち受けポートを設定します。 初期値 : 161[1025~65535] ※0 を設定すると SNMP は無効
SNMP Trap Destination IP	SNMP トラップの送信先 IP を設定します。
SNMP Trap Destination Port	SNMP トラップの送信先ポートを設定します。 初期値 : 162[1025~65535] ※0 を設定すると SNMP Trap は無効
SNMP Version	SNMP バージョンを 1/2c/3 から選択します。SNMP v3 を選択した場合は、「User Authentication and Privacy(v3)」を設定します。

※SNMP トラップを使用する場合は、ファイアウォールを無効にする必要があります。

「Sensor1/2」が動作することで、トラップは発生します。

- User Authentication and Privacy(v3)

SNMP Version で 3 を選択した場合、以下の設定を行います。

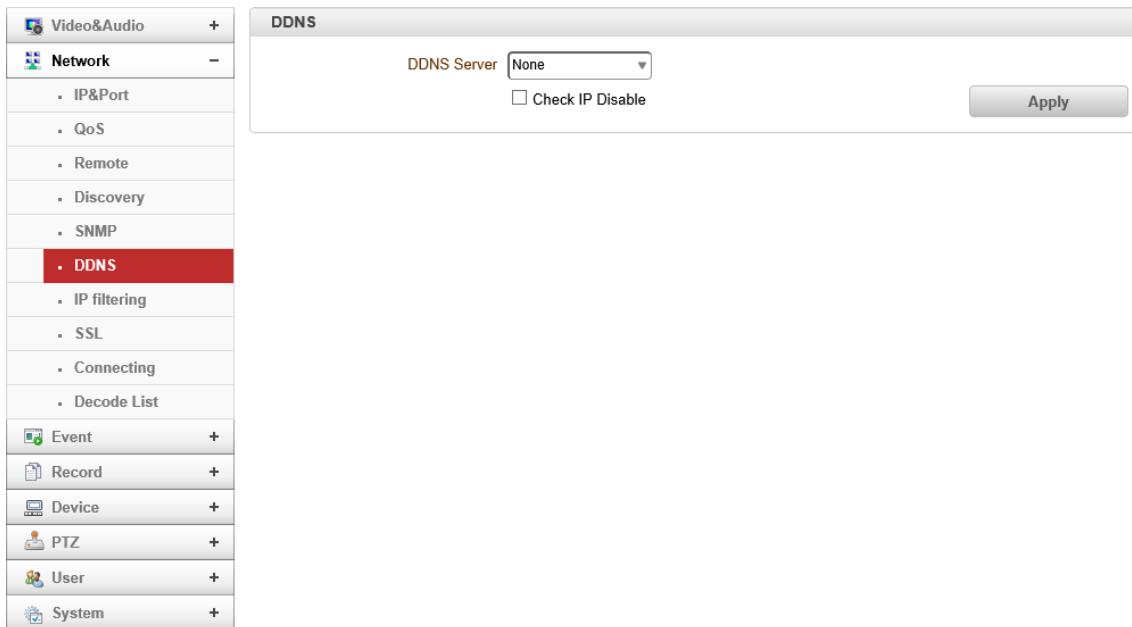
User Authentication and Privacy (v3)

User	<input type="text"/>
Authentication Protocol	none
Authentication Password	<input type="text"/>
Privacy Protocol	none
Privacy Password	<input type="text"/>

表示	説明
User	ユーザ名を入力します。
Authentication Protocol	認証プロトコルを None(ユーザ名で認証)、MD5、SHA から選択します。
Authentication Password	認証パスワードを入力してください。※9 文字以上
Privacy Protocol	暗号化プロトコルを none(暗号化なし)、Des、Aes128 から選択します。
Privacy Password	暗号化パスワードを入力してください。※9 文字以上

9.2.6. DDNS

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.2.7. IP filtering

No.	From	To	Enable
1	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
3	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
4	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
5	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
6	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
7	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
8	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
9	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
10	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
11	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
12	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
13	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
14	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
15	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
16	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
17	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
18	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
19	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
20	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>

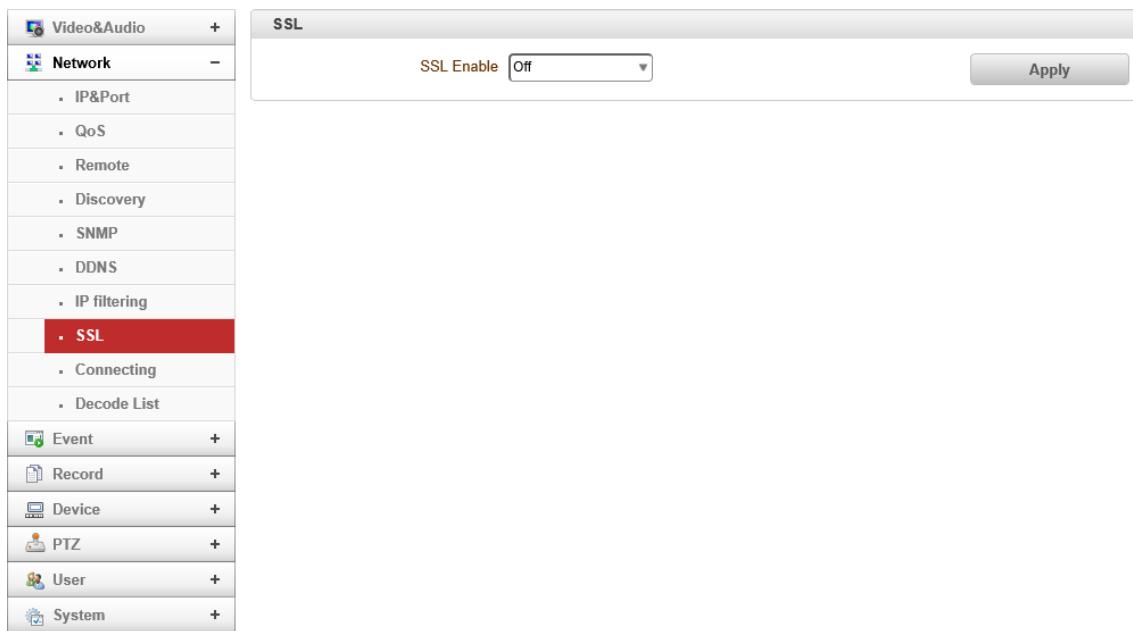
Apply

- IP Filtering

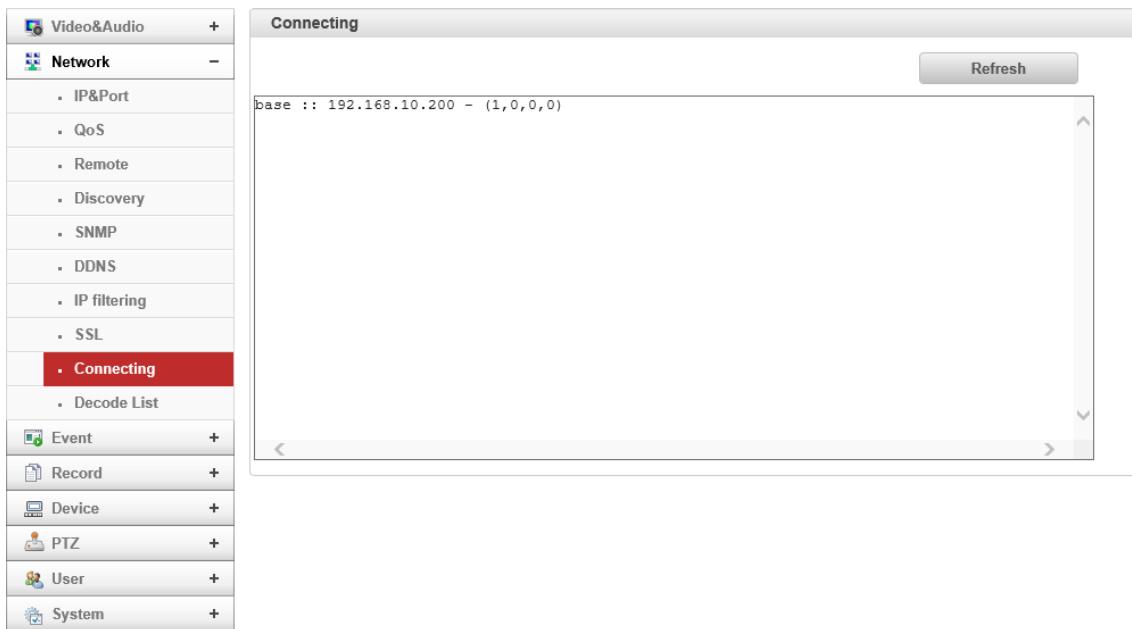
表示	説明
Basic Policy	Allow all : リストにある IP アドレスからのアクセスを拒否します。 Deny all : リストにある IP アドレスからのみアクセスを許可します。
From / To	アクセスを拒否または許可したい IP アドレスの範囲を入力します。
Enable	制限を有効にする場合、チェックを入れます。

9.2.8. SSL

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.2.9. Connecting



表示	説明
Connecting	現在システムに接続しているクライアント IP アドレスが記載されます。
Refresh	表示を更新します。

9.2.10. Decode List

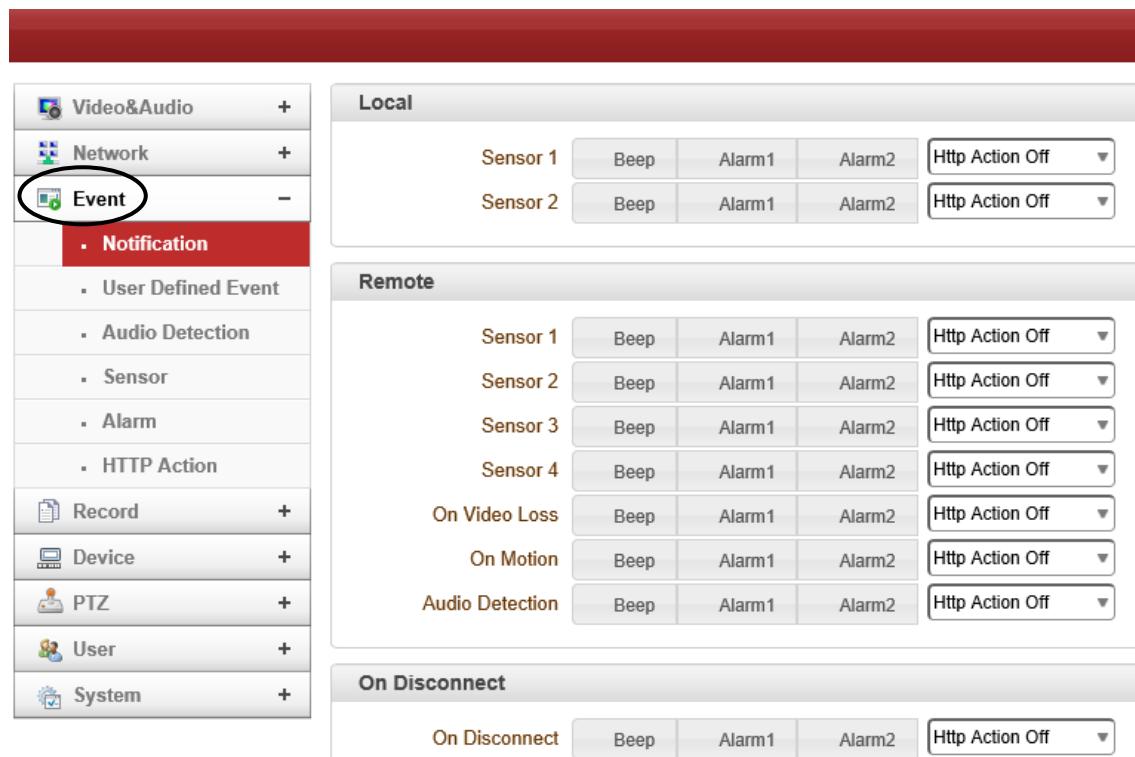
No.	Name	URL	Type	Time	Enable
1			Normal	Detail	5
2			Normal	Detail	5
3			Normal	Detail	5
4			Normal	Detail	5
5			Normal	Detail	5
6			Normal	Detail	5
7			Normal	Detail	5
8			Normal	Detail	5
9			Normal	Detail	5
10			Normal	Detail	5
11			Normal	Detail	5
12			Normal	Detail	5
13			Normal	Detail	5
14			Normal	Detail	5
15			Normal	Detail	5
16			Normal	Detail	5
17			Normal	Detail	5
18			Normal	Detail	5
19			Normal	Detail	5
20			Normal	Detail	5
21			Normal	Detail	5
22			Normal	Detail	5
23			Normal	Detail	5
24			Normal	Detail	5
25			Normal	Detail	5

Apply

表示	説明
Switching Decode List Enable	Decode List を有効にする場合はチェックを入れます。 無効の場合は、 9.2.3. Remote で設定したビデオソースを再生します。
Name	ビデオソースの名前を入力します。
URL	URL や IP アドレスを入力します。 ※URL 全体の入力文字数に制限あり(1500 文字程度)
Type	ビデオソースの種類を選択します。(SRT は未サポート) 各ソースの設定方法は、 9.2.3. Remote を参照してください。
Detail/Hide	設定の詳細を表示または非表示します。
Time	巡回再生を行う場合、各ソースの再生時間を設定します。
Enable	各ビデオソースの再生を有効にする場合は、チェックを入れます。チェックが外れていると、そのソースは再生されません。 2 つ以上のビデオソースにチェックを入れた場合、巡回再生を行います。

9.3. Event

SETUP メニュー画面から "Event" タブをクリックします。



➤ Event メニュー

表示	説明
Notification	イベント発生時の対応方法の選択を行います。
User Defined Event	イベントの種類(時間変更、録画ステータスの異常)の選択を行います。
Audio Detection	検知する音声の制限をかけられます。
Sensor	センサーのタイプ・スケジュールの設定を行います。
Alarm	イベント発生時のアラームまたはビープ音の長さの設定を行います。
HTTP Action	イベント発時に作動させる HTTP API の設定を行います。

9.3.1. Notification

Local

Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off

Remote

Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off

On Disconnect

On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
---------------	------	--------	--------	-----------------

User Defined Event

User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off

Apply

- **Local**

Local(TCS-1700)のセンサーが起動したときのアクションを設定します。

Local

Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off

- **Remote**

Remote(エンコーダ側)のイベントに対するアクションを設定します。

Remote

Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off

- On Disconnect

リンク(接続)が切断されたときのアクションを設定します。



- User Defined Event

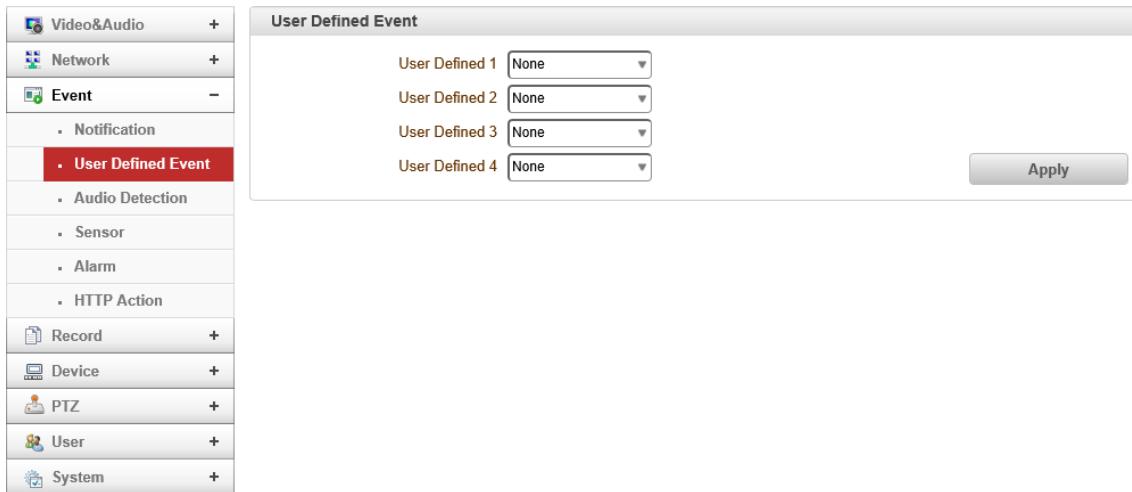
User Defined Event で設定したイベントに対するアクションを設定します。



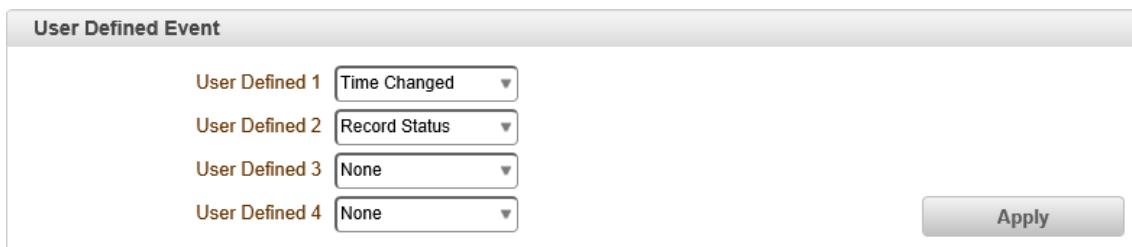
各アクションについて

表示	説明
Beep	本機からビープ音が鳴ります。
Alarm	アラーム 1 またはアラーム 2 のリレー回路を作動させます。
HTTP API	HTTP API を送信します。

9.3.2. User Defined Event

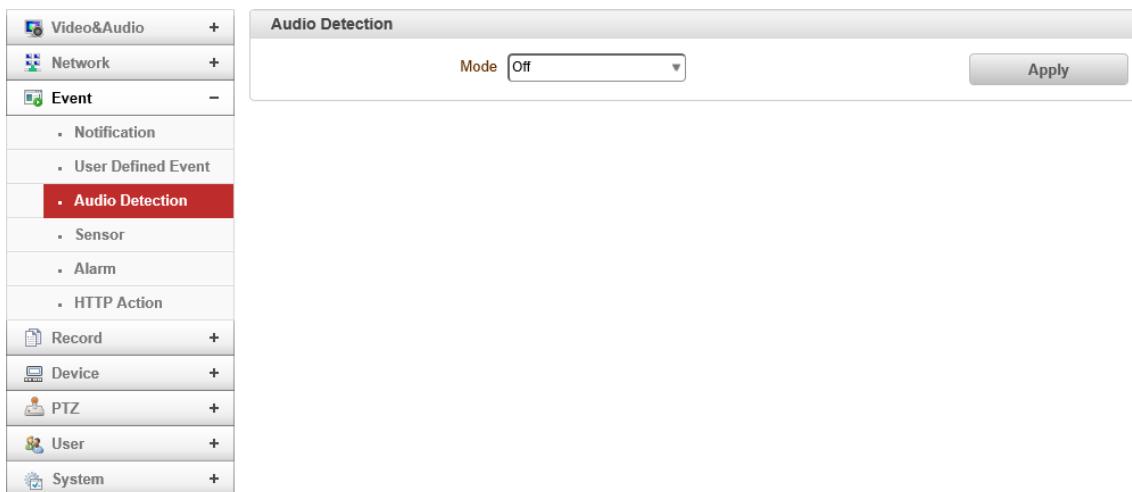


- User Defined Event

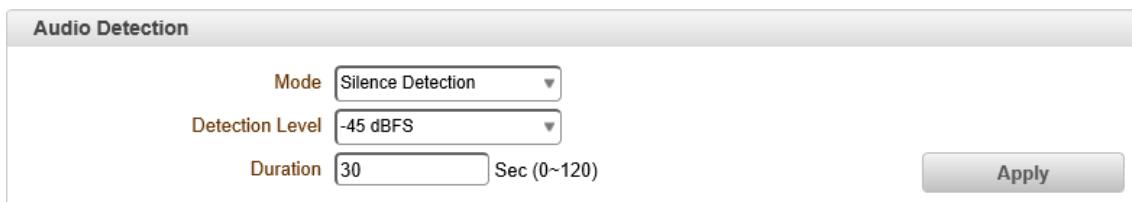


表示	説明
Time Change	システム時間が変更されたときにイベントを発生させます。
Record Status	録画の異常停止や USB ディスクの切断など、録画ステータスが異常と判断されたときにイベントを発生させます。

9.3.3. Audio Detection



- **Audio Detection**



表示	説明
Mode	Silence Detection または Sound Detection を選択します。
Detection Level	音声検知の閾値(レベル)を設定します。[-10dBFS]～[-60dBFS] Silence Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が小さい場合にイベントを発生させます。 Sound Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が大きい場合にイベントを発生させます。
Duration	Silence と Sound で、検知のイベントを発生させるタイミングが異なります。 Silence : 閾値より音声信号が小さい時間が Duration 時間を超えたときに、イベント発生させます。 Sound : 閾値より音声信号が大きくなるとイベントが発生し、Duration ではイベント持続時間を設定します。

9.3.4. Sensor

The screenshot shows the configuration interface for the Sensor section. On the left is a sidebar with various options like Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'Sensor' option is selected and highlighted in red.

Sensor Type

Sensor 1	Off	<input checked="" type="radio"/> N/O	N/C
Sensor 2	Off	<input checked="" type="radio"/> N/O	N/C

Sensor Schedule

Select: Sensor Off Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Apply

- Sensor Type

Sensor Type

Sensor 1	Off	<input checked="" type="radio"/> N/O	N/C
Sensor 2	Off	<input checked="" type="radio"/> N/O	N/C

表示 **説明**

Off	センサーを使用しません。
N/O	ポートが開いている状態が正常で、閉じたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Open)
N/C	ポートが閉じている状態が正常で、開いたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Close)

- Sensor Schedule

Sensor Schedule

Select	<input checked="" type="radio"/> Sensor Off	<input type="radio"/> Sensor On																						
Sensor 1																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								
Sensor 2																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Select	Sensor Off(無効)またはSensor On(有効)を選択します。
Sensor 1～2	クリックまたはドラッグでセンサーのスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

9.3.5. Alarm

The screenshot shows the software's navigation tree on the left, with 'Event' expanded and 'Alarm' selected. The main area displays the 'Alarm' configuration window with three dropdown menus for duration settings.

- Alarm

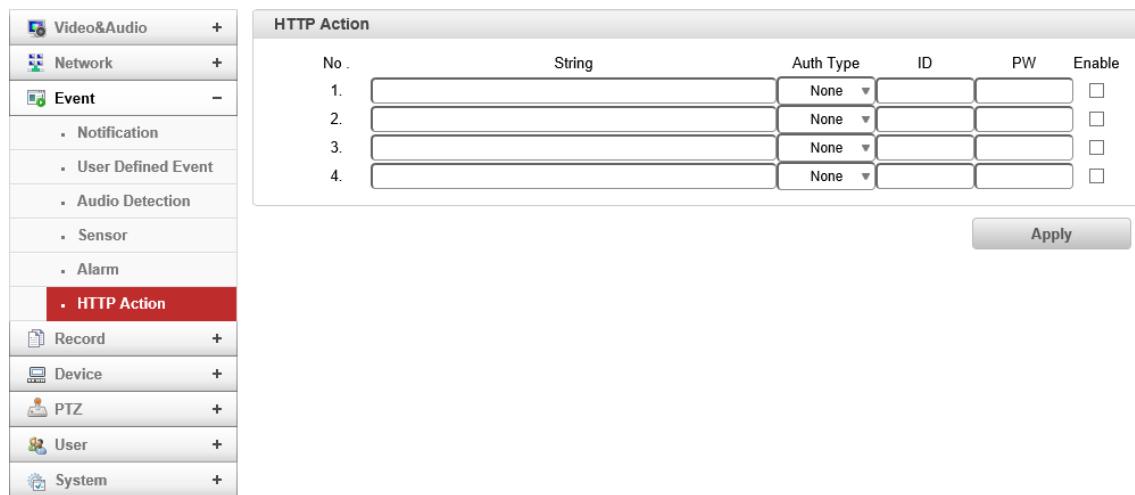
This screenshot shows the 'Alarm' configuration window with its three duration settings. The 'Apply' button is prominent at the bottom right.

表示	説明
Beep Duration	ビープ音が鳴る継続時間を設定します。
Alarm1/2 Duration	アラーム回路を短絡させる継続時間を設定します。

Durationについて

表示	説明
Synchronous	関連付けたイベントが発生している間、ビープ音またはアラーム回路を作動させます。
1, 5, 10, 30, 60 sec	発生後も 1/5/10/30/60 秒間、ビープ音またはアラーム回路を作動し続けます。 ※設定時間より若干長い可能性があります。(+数秒)
Continuous	手動で止めるまで、ビープ音またはアラーム回路を作動させます。

9.3.6. HTTP Action



- HTTP Action

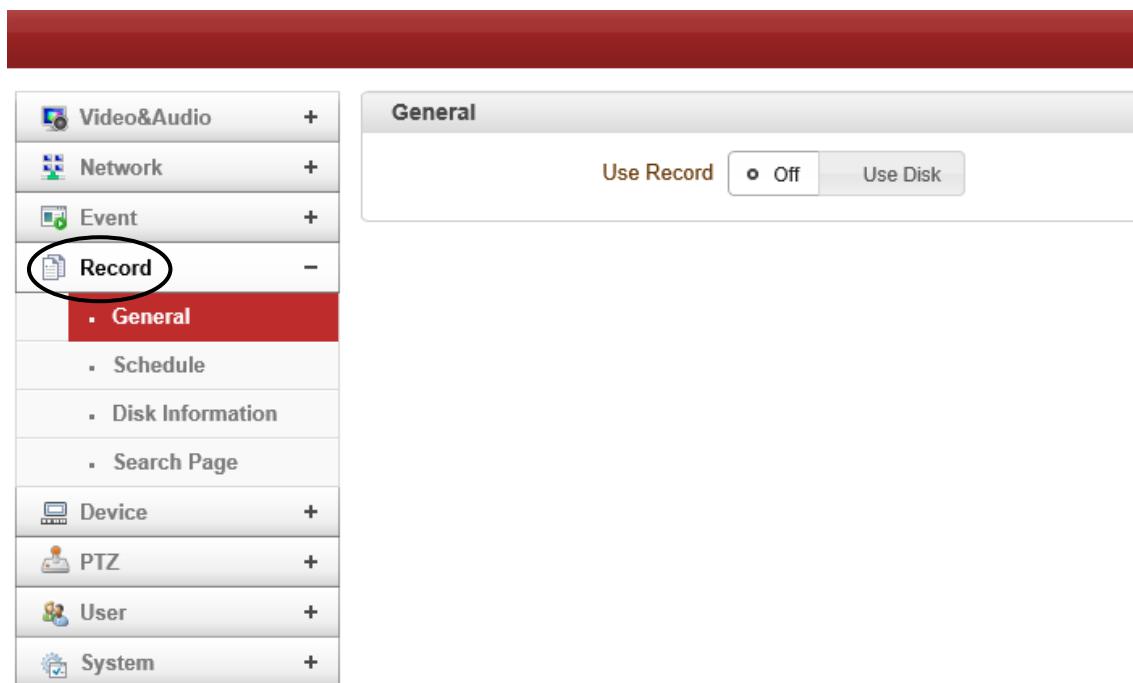
HTTP Action

No.	String	Auth Type	ID	PW	Enable
1.		None			<input type="checkbox"/>
2.		None			<input type="checkbox"/>
3.		None			<input type="checkbox"/>
4.		None			<input type="checkbox"/>

表示	説明
String	HTTP API の命令を入力します。 入力文字列については、下記の「HTTP API の入力例」をご参照ください。
Auth Type	User > Login Policy の認証タイプに従って、HTTP API の認証タイプを設定します。 Auth Type の選択方法は、「Auth Type の設定基準」をご参照ください。
ID	ログイン時に使用するユーザ名を入力します。
PW	ログイン時に使用するパスワードを入力します。
Enable	入力した命令の有効/無効を設定します。

9.4. Record

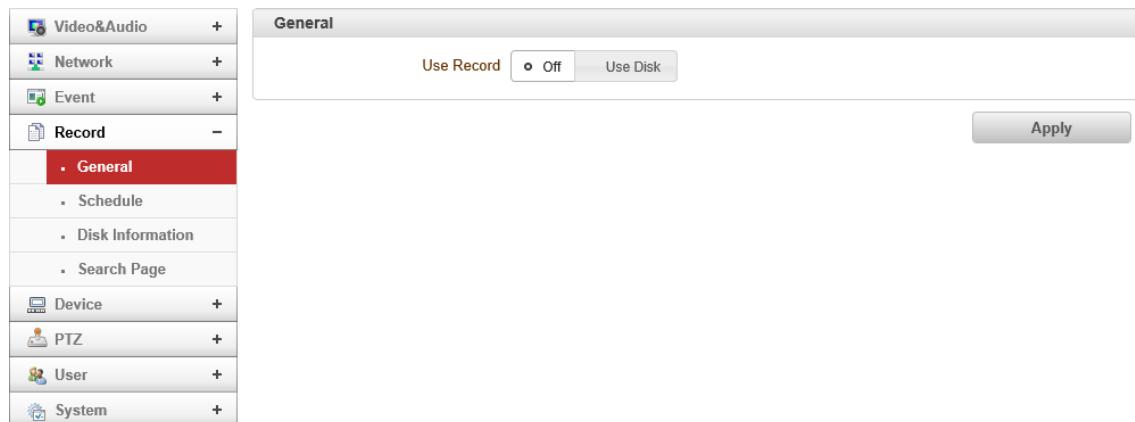
SETUP メニュー画面から"Record"タブをクリックします。



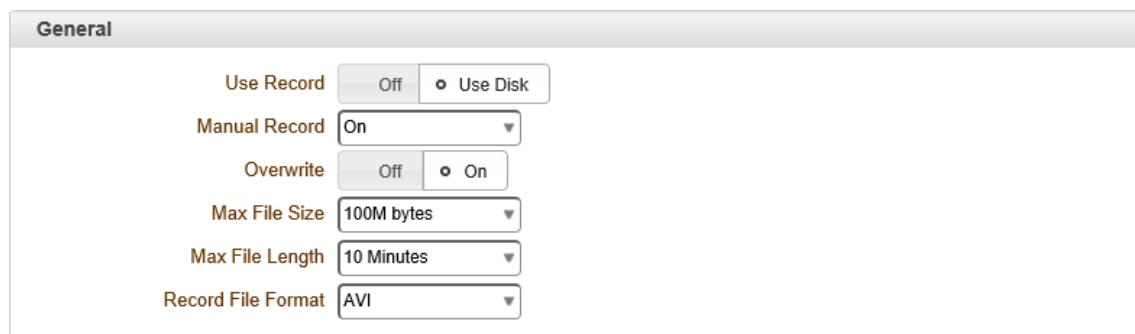
➤ Record メニュー

表示	説明
General	録画の設定を行います。
Schedule	録画のスケジュール設定を行います。
Disk Information	録画情報や容量が確認できます。
Search Page	録画されたデータを探すことができます。

9.4.1. General



- General



表示	説明
Use Record	Off : 録画機能が OFF になります。 Use Disk : 録画機能が ON になります。設定後に再起動します。
Manual Record	Off : スケジュール通りに録画します。 On : スケジュール関係なく常時録画を行います。
Overwrite	ディスクが容量不足になると、最も古いデータから削除されます。
Max File Size	録画ファイルのサイズを制限するため、最大ファイルサイズを選択します。
Max File Length	録画ファイルの時間の長さを制限するため、録画の最大時間を選択します。
Record File format	録画ファイル形式を MP4※1または AVI から選択します。

※1 MP4 の注意事項

MP4 で録画する場合は、H.264 を推奨します。

MJPEG での録画は未サポートとなります。(AVI での録画は可能)

デコーダで録画機能を使用する場合

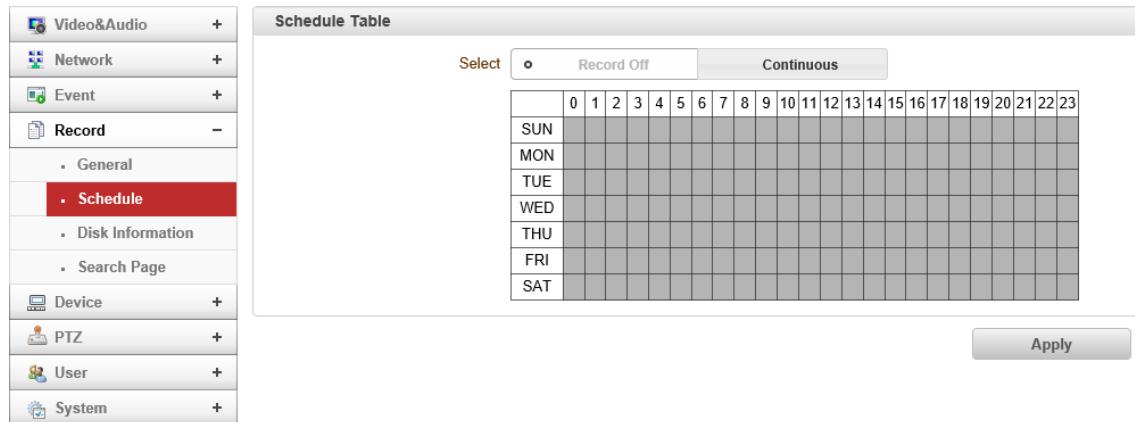
デコーダで受信した映像を録画します。

デコーダの [9.2.3. Remote](#) にて、最大 4 ストリームのデコード設定を行います。「Recoding」でその中から 1 つを選択し録画を行います。

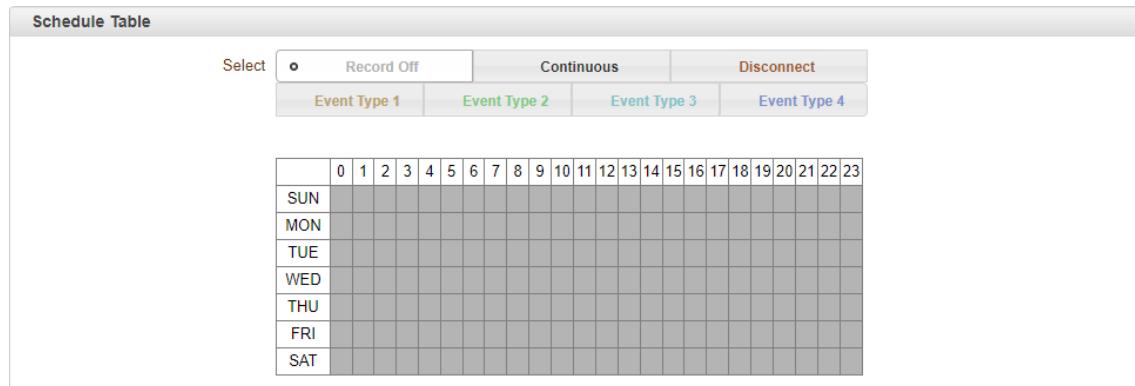


※解像度やフレームレート、画質等は、HDMI 出力と同じ条件で録画を行います。

9.4.2. Schedule



- Schedule Table

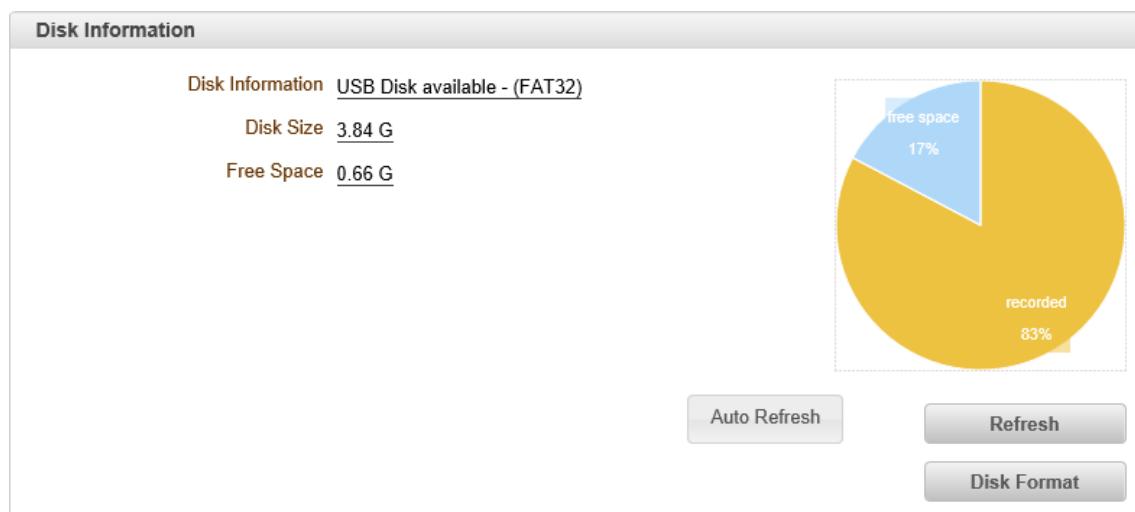


表示	説明
Select	Record Off, Continuous から選択します。 Record Off : 録画を行いません。 Continuous : 常に録画を行います。

9.4.3. Disk Information



- Disk Information



表示	説明
Disk Information	ディスクのステータスを表示します。 詳細は下記の <u>Disk Information</u> を参照してください。
Disk Size	ディスクの容量を表示します。
Free Space	ディスクの空き容量を表示します。
<input type="button" value="Auto Refresh"/>	1分間隔で自動的に更新します。
<input type="button" value="Refresh"/>	クリックすると更新します。
<input type="button" value="Disk Format"/>	ディスクをフォーマットして、本機を再起動します。

Disk Information

ディスクステータス	説明
Disk error detected	エラーを検出しました。
Not disk	システムにディスクが接続されていません。
Searching Disk Information	ディスクのステータスを確認しています。ページを更新またはステータスが変更されるまで待機してください。
Mounting and Recovering Disk	ディスクの損傷が見つかったときに、リカバリプロセスを実行します。回復には数秒から数分かかります。
Disk format needed Unknown disk type detected	ディスクは接続されていますが、ファイルシステムの種類が不明、または破損している可能性があります。
USB Disk available	USB ディスクは使用可能です。
Disk removed or in abnormal state	動作中にディスクがデータ化されるか、ファイルシステムに損傷があります。ディスクをフォーマットすることを推奨します。

USB ディスクについて

- USB メモリースティックまたはUSB HDD(外部電源付き)を使用でき、1GB 以上を推奨します。
- ファイルシステムは「FAT32」のみサポートしています。
- 録画と監視を同時に行う場合は、4Mbps 以下のビットレートを推奨します。パフォーマンスの制限によりフレームの欠落が発生する可能性があります。
- USB ディスクを正常に読み取れなかった場合は、Disk Format を行ってください。システムは再起動を行い、起動時にディスクのステータスを読み取り初期化します。

9.4.4. Search Page

The screenshot shows the software's navigation tree on the left. The 'Search Page' option under the 'Record' category is highlighted with a red box.

- Video&Audio
- Network
- Event
- Record**
 - General
 - Schedule
 - Disk Information
 - Search Page**
- Device
- PTZ
- User
- System

表示	説明
Search Page	<p>録画した日付を表示します。</p> <p>日付をクリックすると、下のように表示されます。</p> <p>※File Name をクリックすると、録画した動画を見ることができます。</p>

日付けをクリックし、録画ファイルを確認

The screenshot shows the 'Search Page' interface with 'Root >> 2023_10_26'. Below it is a table of recorded files:

<input type="checkbox"/>	File Name	Size	Play
<input type="checkbox"/>	231026_151041_151321.avi	100.76M	
<input type="checkbox"/>	231026_150801_151041.avi	100.52M	
<input type="checkbox"/>	231026_150520_150801.avi	100.52M	
<input type="checkbox"/>	231026_150240_150520.avi	100.52M	
<input type="checkbox"/>	231026_150000_150240.avi	100.67M	

表示	説明
File Name	<p>録画時間がファイル名となります。</p> <p>ファイル名をクリックすると、録画ファイルを保存できます。</p>
Size	録画ファイルの容量を表示します。
Play	<input type="button" value="play"/> をクリックして録画ファイルを再生します。(MP4のみ)※1
Delete	削除したいファイルにチェックを入れ <input type="button" value="Delete"/> をクリックすると、録画ファイルが削除されます。

※1 録画ファイルの再生は、VLC media player を推奨します。他のプレイヤーでは、音声が再生されない場合があります。

9.5. Device

SETUP メニュー画面から"Device"タブをクリックします。

The screenshot shows the left sidebar of the TCS-1700 setup menu. The "Device" icon is highlighted with a red oval. Below it, the "Information" option is also highlighted with a red oval. Other options in the sidebar include Video&Audio, Network, Event, Record, PTZ, User, and System. To the right, a panel titled "device information" displays two serial port entries: COM1 (Tx=0 (bps), Rx=0 (bps)) and COM2 (Tx=0 (bps), Rx=0 (bps)).

➤ Device メニュー

表示	説明
Information	シリアル通信の状態を表示します。
Serial	シリアルポートの設定を行います。

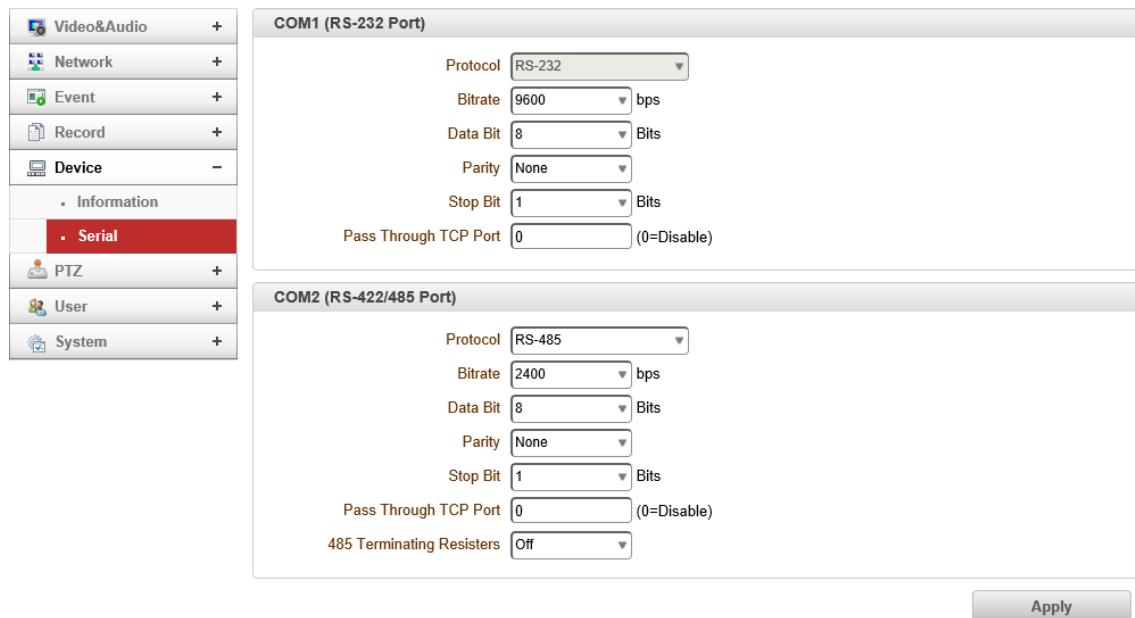
9.5.1. Information

The screenshot shows a software interface with a sidebar on the left containing various system categories like Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'Device' category is expanded, and its 'Information' sub-item is selected, highlighted with a red background. To the right of the sidebar, there is a main panel titled 'device information' which displays two serial port status rows: COM1 (Tx=0 (bps), Rx=0 (bps)) and COM2 (Tx=0 (bps), Rx=0 (bps)).

- Device information

表示	説明
COM1 / COM2	現在のシリアル通信の状態(送受信)を表示します。

9.5.2. Serial



- COM1 (RS-232 Port)

COM1 (RS-232 Port)

Protocol	RS-232
Bitrate	9600 bps
Data Bit	8 Bits
Parity	None
Stop Bit	1 Bits
Pass Through TCP Port	0 (0=Disable)

表示	説明
Protocol	RS-232 で固定されます。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。

- COM-2 (RS-422/485 Port)

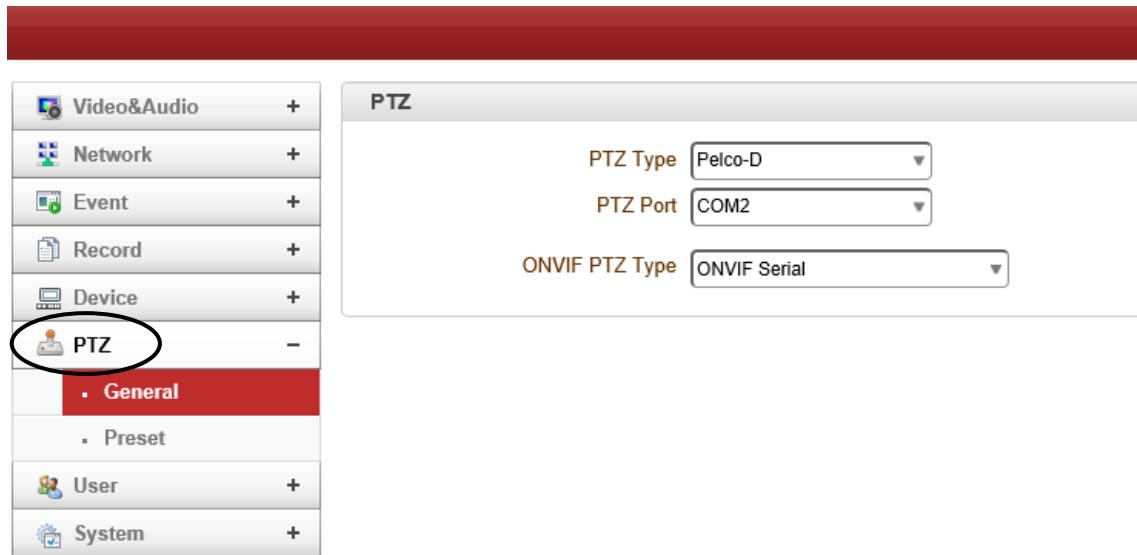
COM2 (RS-422/485 Port)

Protocol	RS-485
Bitrate	2400 bps
Data Bit	8 Bits
Parity	None
Stop Bit	1 Bits
Pass Through TCP Port	0 (0=Disable)
485 Terminating Resistors	Off

表示	説明
Protocol	RS-422 または RS-485 を選択します。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。
485 Terminating Resistors	終端抵抗の有効/無効を選択します。

9.6. PTZ

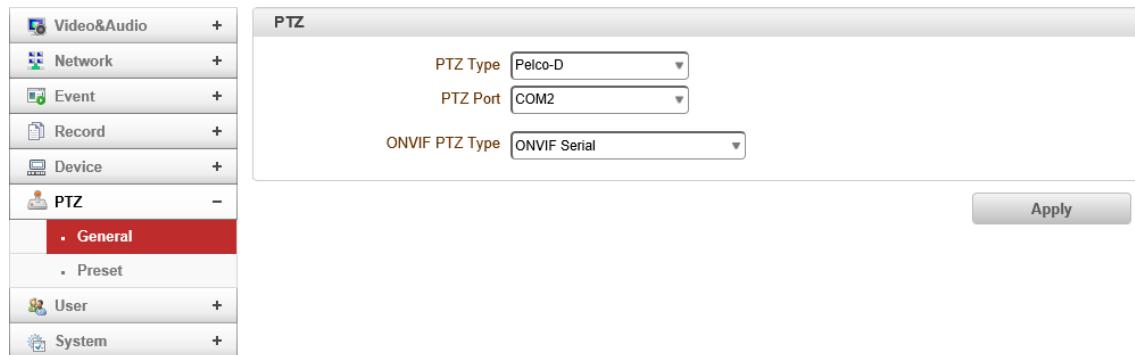
SETUP メニュー画面から"PTZ"タブをクリックします。



➤ PTZ メニュー

表示	説明
General	PTZ カメラの設定を行います。
Preset	Preset の設定を行います。

9.6.1. General



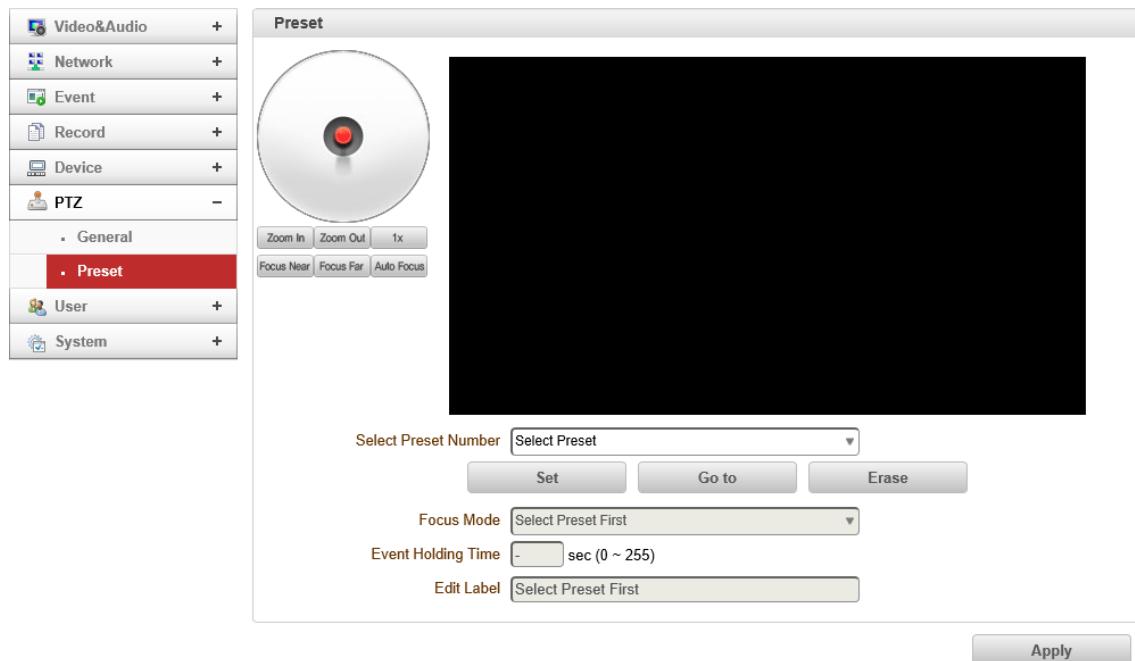
- PTZ

PTZ

PTZ Type: Pelco-D
PTZ Port: COM2
ONVIF PTZ Type: ONVIF Serial

表示	説明
PTZ Type	PTZ カメラや受信機の種類を選択します。
PTZ ID	制御用のカメラや受信機の PTZ ID を入力します。[0-255]
ONVIF PTZ Type	ONVIF Serial または ONVIF PTZ から選択します。

9.6.2. Preset

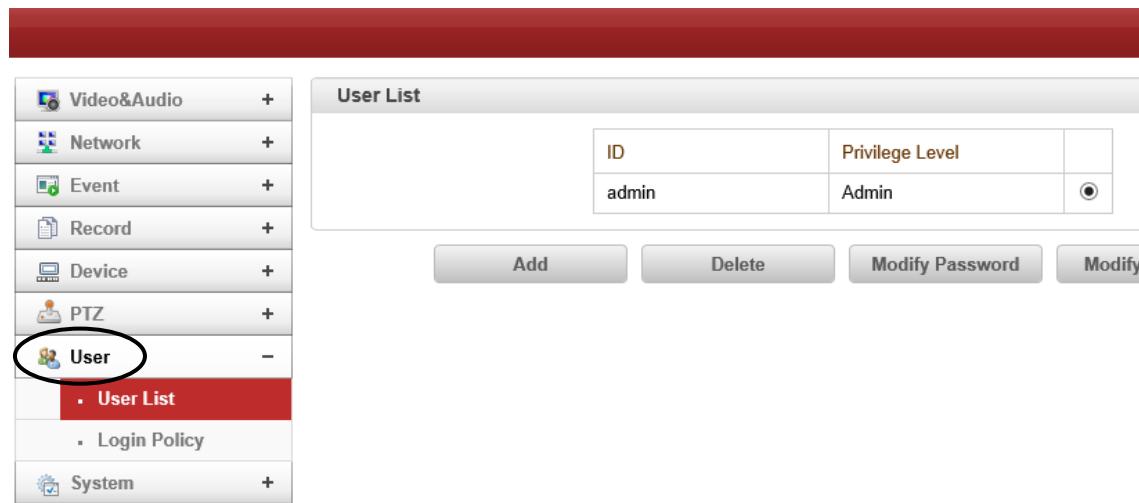


- Preset

表示	説明
Select Preset Number	プリセット番号を選択します。(Preset-1～500)
Set	選択したプリセット番号に現在位置を設定します。
Go to	プリセットが設定されている場合、選択したプリセットの位置へ移動します。
Erase	選択したプリセットを削除します。
Focus Mode	本機能は未サポートのため、ご使用になれます。
Event Holding Time	本機能は未サポートのため、ご使用になれます。
Edit Label	プリセットにラベルを割り当てます。

9.7. User

SETUP メニュー画面から”User”タブをクリックします。



The screenshot shows the left sidebar of the TCS-1700 setup menu. The 'User' icon is highlighted with a red circle and has a red bar underneath it. The 'User List' option under 'User' is also highlighted with a red bar. The main panel displays the 'User List' table with one entry: ID 'admin' and Privilege Level 'Admin'. There are buttons for 'Add', 'Delete', 'Modify Password', and 'Modify'.

ID	Privilege Level
admin	Admin

➤ User メニュー

表示	説明
User List	ユーザの登録・削除・変更を行います。 最大 15 ユーザ登録可能。(admin 含む)
Login Policy	認証タイプやログイン方法を設定できます。

※上記の User 設定は、admin ユーザのみ設定できます。

9.7.1. User List

ID	Privilege Level	
admin	Admin	<input checked="" type="radio"/>

Add Delete Modify Password Modify Privilege

- User List

表示	説明
ID	ユーザの ID を表示します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを表示します。

ユーザ権限レベル

権限	操作可能範囲
Admin	すべての操作
Manager	User 設定を除くすべての操作
User	Live 表示と PTZ 制御
Guest	Live 表示のみ

- Add (新規登録)

Add ボタンをクリックします。



表示	説明
ID	登録するユーザの ID を入力します。 ※1~15 文字 ※英数字のみ
Password	登録するユーザのパスワードを入力します。 ※2~15 文字 ※英数記号 (“=”、“<”、“>”、“?”は使用不可)
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを選択します。

- Delete (ユーザ削除)

削除するユーザの右に黒丸を移動し Delete ボタンをクリックします。



- Modify Password (パスワードの変更)

パスワード変更をするユーザの右に黒丸を移動し、Modify Password ボタンをクリックします。

表示	説明
ID	パスワードを変更するユーザを表示します。
Current Password	現在のパスワードを入力します。(admin のみ入力)
New Password	新しいパスワードを入力します。
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。

- Modify Privilege (権限レベルの変更)

権限レベルを変更するユーザの右に黒丸を移動し Modify Privilege ボタンをクリックします。

表示	説明
ID	権限を変更するユーザを表示します。
Privilege Level	権限レベルを選択します。

※admin ユーザの admin 権限は変更不可

9.7.2. Login Policy

- Login Policy

表示	説明
Authentication Type	HTTP 認証方式の基本認証 (Basic) またはダイジェストアクセス認証 (Digest) から選択します。

- Authentication

表示	説明
RTSP Authentication	On を選択した場合、RTSP クライアントへの動画配信を行う際に、パスワード認証を要求します。
HTTPAPI Authentication	On に設定すると、HTTPAPI にて操作する際に、パスワード認証を要求します。

- Login Failure Process

Login Failure Process

Number of Login failures Allowed User ID Blocking Apply

表示	説明
Number of Login failures Allowed	ログイン失敗の許容回数を設定します。 No limit(無制限)を選択した場合は、何回失敗してもブロックされません。 1,3,5,10を選択した場合は、失敗の許容回数を超えるとブロックされます。 ブロックされた場合、一定の時間ログインできなくなります。 【例】 3を選択した場合、3回連続で失敗しても4回目で成功すればログインできます。4回連続で失敗した場合、ブロックされます。
User ID Blocking	ログイン失敗しブロックされた場合、ブロックする時間を設定します。 30秒, 60秒, 5分から選択し、経過すると再度ログインできます。

9.8. System

SETUP メニュー画面から"System"タブをクリックします。

The screenshot shows the left sidebar of the setup menu with several categories: Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'System' category is highlighted with a red oval, and its sub-menu items are listed below it: Information, Upgrade&Reboot, Time, OSD, Language, and Log. To the right, the 'System Information' panel displays the following details:

- Model: TCS-1700 (F001)
- Version: V14.304B02_T100
- OpenSSL Version: OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021
- MAC Address: 00:1C:63:D7:02:63
- Current IP: 192.168.10.100
- Current Domain: Not Registered

➤ System メニュー

表示	説明
Information	現在の機器情報の表示を行います。
Upgrade & Reboot	ファームウェアの更新や本機の再起動、初期化を行います。
Time	現在の日時設定を行います。
OSD	システム名や日時の画面表示設定を行います。
Language	表示される言語設定を行います。
Log	ログの表示と保存を行います。

9.8.1. Information

System Information

- Model TCS-1700 (F001)
- Version V14.304B02_T100
- OpenSSL Version OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021
- MAC Address 00:1C:63:D7:02:63
- Current IP 192.168.10.100
- Current Domain Not RegisteredB

- System Information

System Information

- Model TCS-1700 (F001)
- Version V14.304B02_T100
- OpenSSL Version OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021
- MAC Address 00:1C:63:D7:02:63
- Current IP 192.168.10.100
- Current Domain Not RegisteredB

表示	説明
Model	モデル名を表示します。
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
OpenSSL Version	現在の OpenSSL バージョンを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
Current IP	現在の IP アドレスを表示します。
Current Domain	現在のドメイン名を表示します。

9.8.2. Upgrade & Reboot

The screenshot shows the 'Upgrade & Reboot' section of the TCS-1700 configuration interface. The left sidebar has a tree view with 'Upgrade&Reboot' selected. The main area has several tabs: 'Firmware' (Version V14.304B02_T100, Upgrade button), 'Config Backup&Restore' (Backup and Restore buttons), 'Reboot' (Reboot button), 'Factory Reset' (Factory Reset button), and 'SSL Certificates Upload' (Crt File and Key File upload buttons). A note at the bottom says 'Default certificate is being used.'

- Firmware

表示	説明
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Upgrade	参照ボタンをクリックし、PC からファームウェアファイルを選択します。 Firmware Upgrade をクリックし、アップグレードを開始します。 アップグレード完了後に、本機は自動的に再起動します。 ※アップグレード中に電源を切らないで下さい。

- Config Backup & Restore

Config Backup&Restore

表示	説明
Backup	Config Backup をクリックし、コンフィグファイルを保存します。
Restore	参照から保存されたコンフィグファイルを選択し、設定の復元します。 Config Restore をクリックすると、再起動します。 ※異なるファームウェアバージョンのコンフィグファイルは適用できません。

- Reboot

Reboot

表示	説明
Reboot	本機を再起動します。

- Factory Reset

Factory Reset

表示	説明
Exclusions Item	Network、Preset、User List で初期化しない設定にチェックをします。 設定が保持されるものを以下に記します。 Network : Network > IP&Port, QoS, Discovery, SNMP, DDNS, SSL User > Login Policy > Authentication Preset : PTZ > Preset User List : User > User List
Factory Reset	ログを含む、すべての設定が初期化されます。

- SSL Certification Upload

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

SSL Certificates Upload

Crt File	参照...
Key File	参照...
Upload	
Default certificate is being used.	

9.8.3. Time

The screenshot shows the 'Time' configuration page. On the left, a sidebar lists system categories: Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, System, and Time. The 'Time' category is selected and highlighted in red. The main panel is titled 'Time' and contains the following fields:

- Start Time: 2023/10/26 14:56:31
- Current Time: 2023/10/26 16:00:38
- Set Time: 2023/10/26 16:00:35 (with up/down buttons)
- Set Current Time button
- Time Format: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- Time Zone: (GMT+09:00) Seoul
- Automatically synchronize with NTP server checkbox (unchecked)
- NTP Server: pool.ntp.org
- Apply button

- Time

The screenshot shows the 'Time' configuration page. The 'Time' category is selected in the sidebar. The main panel displays the following information:

- Start Time: 2023/10/26 14:56:31
- Current Time: 2023/10/26 16:01:13
- Set Time: 2023/10/26 16:00:35 (with up/down buttons)
- Set Current Time button
- Time Format: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- Time Zone: (GMT+09:00) Seoul
- Automatically synchronize with NTP server checkbox (unchecked)
- NTP Server: pool.ntp.org
- Apply button

表示	説明
Start Time	本機の起動日時を表示します。
Current Time	本機の現在日時を表示します。
Set Time	手動で日付と時間を設定できます。 Set Current Time をクリックすると、ブラウザ経由で日時が更新されます。
Time Format	日時の表示形式を選択します。
Time Zone	本機が取り付けられている場所のタイムゾーンを選択します。
Automatically synchronize with NTP server	チェックを入れた場合、自動的に NTP サーバと同期します。 NTP を使用して、NTP サーバと本機の時刻を同期します。
NTP Server	※同期間隔は 30 分程度 NTP にチェックを入れた場合、同期させる NTP サーバを登録します。

9.8.4. OSD

The screenshot shows the configuration interface with the left sidebar expanded to show various system settings like Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. Under the System category, the 'OSD' option is selected and highlighted with a red box. The main panel displays the 'Web Viewer OSD' settings. It includes fields for 'System ID' (with a text input field), 'Time' (with radio buttons for Off or On), and 'Position' (with radio buttons for Bottom or Top). An 'Apply' button is located at the bottom right of the panel.

- System ID

This screenshot shows the 'System ID' configuration page. It has a single input field labeled 'System ID' with a placeholder text box. Below this is a table with two columns: '表示' (Display) and '説明' (Description). The first row shows 'System ID' with the description: 'ビデオサーバ名として使用されるシステム ID を入力します。※最大 15 文字' (Enter the system ID to be used as the video server name. *Maximum 15 characters).

表示	説明
System ID	ビデオサーバ名として使用されるシステム ID を入力します。 ※最大 15 文字

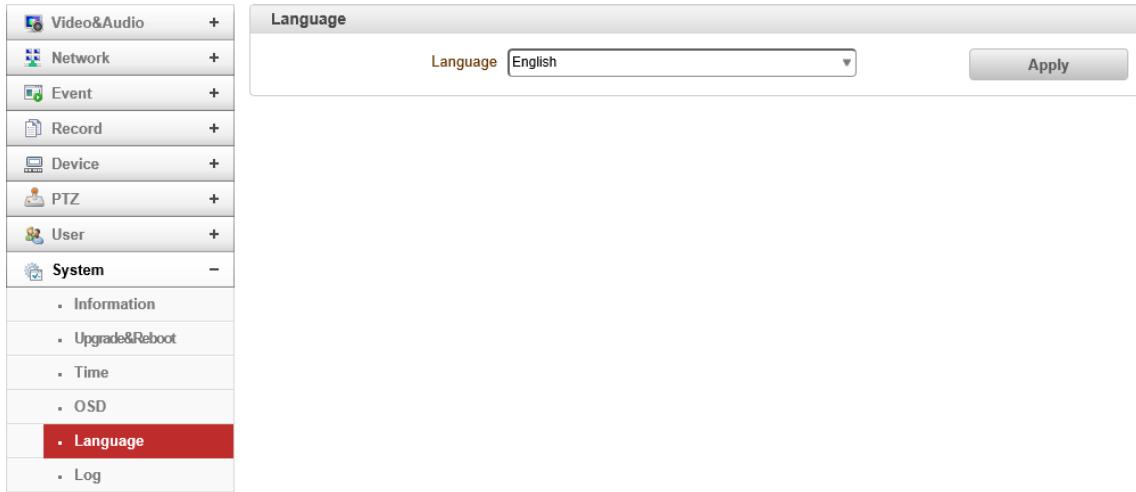
- Web Viewer OSD

This screenshot shows the 'Web Viewer OSD' configuration page. It contains three sets of radio buttons for 'System ID' (Off or On), 'Time' (Off or On), and 'Position' (Bottom or Top). Below this is a table with three rows, each with a '表示' (Display) column and a '説明' (Description) column. The first row is for 'System ID', the second for 'Time', and the third for 'Position'. The descriptions explain the function of each setting.

表示	説明
System ID	システム ID を Live 画面に表示させるか選択します。
Time	現在日時を Live 画面に表示させるのか選択します。
Position	System ID または Time が On の場合、表示する位置を上(Top)または下(Bottom)から選択します。

※Edge(Internet Explorer モード)のみ表示

9.8.5. Language

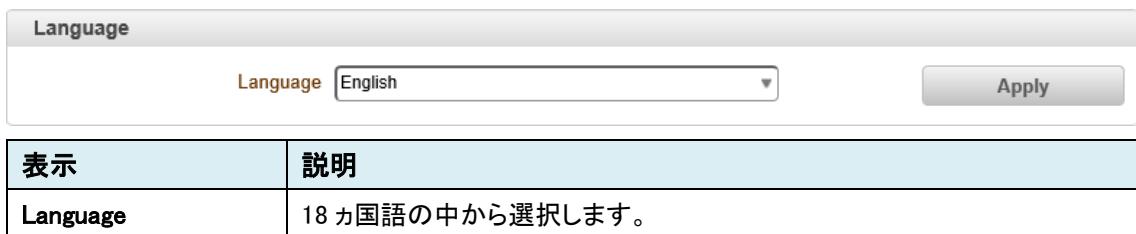


Language

Language English Apply

Video&Audio	+
Network	+
Event	+
Record	+
Device	+
PTZ	+
User	+
System	-
Information	
Upgrade&Reboot	
Time	
OSD	
Language	
Log	

- Language



Language

Language English Apply

表示	説明
Language	18カ国語の中から選択します。

※本取扱説明書は英語版(English)で記載していますが、日本語も選択可能です。

9.8.6. Log

The screenshot shows the 'Log' section of the TCS-1700 software. On the left is a sidebar with categories: Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'System' category is expanded, showing Information, Upgrade&Reboot, Time, OSD, Language, and Log. The 'Log' item under System is highlighted with a red box.

System Log panel:

- Filter: Backup Account Environment System PTZ Etc Connection
- Buttons: Get System Log, Save System Log, Delete System Log File

User Log panel:

- Buttons: Get User Log, Save User Log, Delete User Log File

Save Log Option panel:

	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

Buttons: Apply

- System Log

System Log

```

231004 15:41:41 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:42:17 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:42:50 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:43:20 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:43:42 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:44:04 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:44:19 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:45:07 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:45:49 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:46:11 ETC NETWORK Link disconnect
231004 17:14:34 ETC NETWORK Link disconnect
231004 17:37:34 ETC NETWORK Link disconnect
231004 17:37:42 ETC NETWORK Link disconnect
231004 17:38:25 ETC NETWORK Link disconnect
231011 16:46:21 SYSTEM Started (V14.304B02)
231020 09:02:13 SYSTEM Started (V14.304B02)
231020 11:03:03 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.195)
231020 11:03:22 SYSTEM Started (V14.304B02)
231020 11:05:10 ACCOUNT Changed Password(admin/Admin), ID(admin), IP(192.168.10.195)
231020 11:19:07 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.195)
231020 11:19:27 SYSTEM Started (V14.304B02)
231020 11:35:26 ACCOUNT Changed Password(admin/Admin), ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 16:48:02 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 16:48:10 SYSTEM Started (V14.304B02)
231024 16:56:03 ACCOUNT Changed Password(admin/Admin), ID(admin), IP(192.168.10.195)
231025 10:04:47 SYSTEM Started (V14.304B02)
231025 13:17:25 SYSTEM Started (V14.304B02)
231025 14:23:40 SYSTEM Started (V14.304B02)
231025 16:03:57 SYSTEM Started (V14.304B02)
231025 16:56:04 ENV Network Changed (HTTP Port) Success, ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(80 -> 8000)
231025 16:56:04 ENV Network Changed (HTTP Port) Success, ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(443 -> 4433)
231026 08:59:24 ENV Network Changed (HTTP Port) Success, ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(8000 -> 80)
231026 09:42:09 ETC NETWORK Link disconnect
231026 09:44:03 ETC NETWORK Link disconnect
231026 10:10:16 ETC NETWORK Link disconnect
231026 10:17:08 SYSTEM Reboot ID(admin), IP(192.168.10.7)
231026 10:17:25 SYSTEM Started (V14.304B02)
231026 10:18:37 ETC NETWORK Link disconnect
231026 14:56:11 ENV Recording Changed(Use Record), ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(Off -> On(Disk))
231026 14:56:11 ENV Recording Changed(Manual Record), ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(Off -> On)
231026 14:56:31 SYSTEM Started (V14.304B02)

```

Filter Backup Account Environment System PTZ Etc Connection

[Get System Log](#) [Save System Log](#) [Delete System Log File](#)

表示	説明
Filter	表示するログを選択できます。非表示にするログはチェックを外します。
Get System Log	システムログを表示します。
Save System Log	システムログを txt ファイルとして保存できます。
Delete System Log File	システムログを削除します。

● User Log

User Log

```

231020 11:35:42 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.195)
231020 11:36:39 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 14:57:00 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
231024 14:57:00 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
231024 15:23:20 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
231024 15:23:20 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
231024 16:55:50 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 16:56:10 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 16:56:43 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.195)
231025 10:05:50 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.195)
231025 13:17:50 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 13:18:50 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
231025 13:18:50 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
231025 14:33:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 16:08:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 16:17:10 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 16:17:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 10:17:57 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231026 14:56:58 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231026 14:59:10 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
231026 14:59:10 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)

```

Get User Log Save User Log Delete User Log File

表示	説明
<input type="button" value="Get User Log"/>	ユーザログインに関するログ(success/failure/blocked)を表示します。
<input type="button" value="Save User Log"/>	ユーザログインに関するログを txt ファイルとして保存できます。
<input type="button" value="Delete User Log File"/>	ユーザログインに関するログを削除します。

● Save Log Option

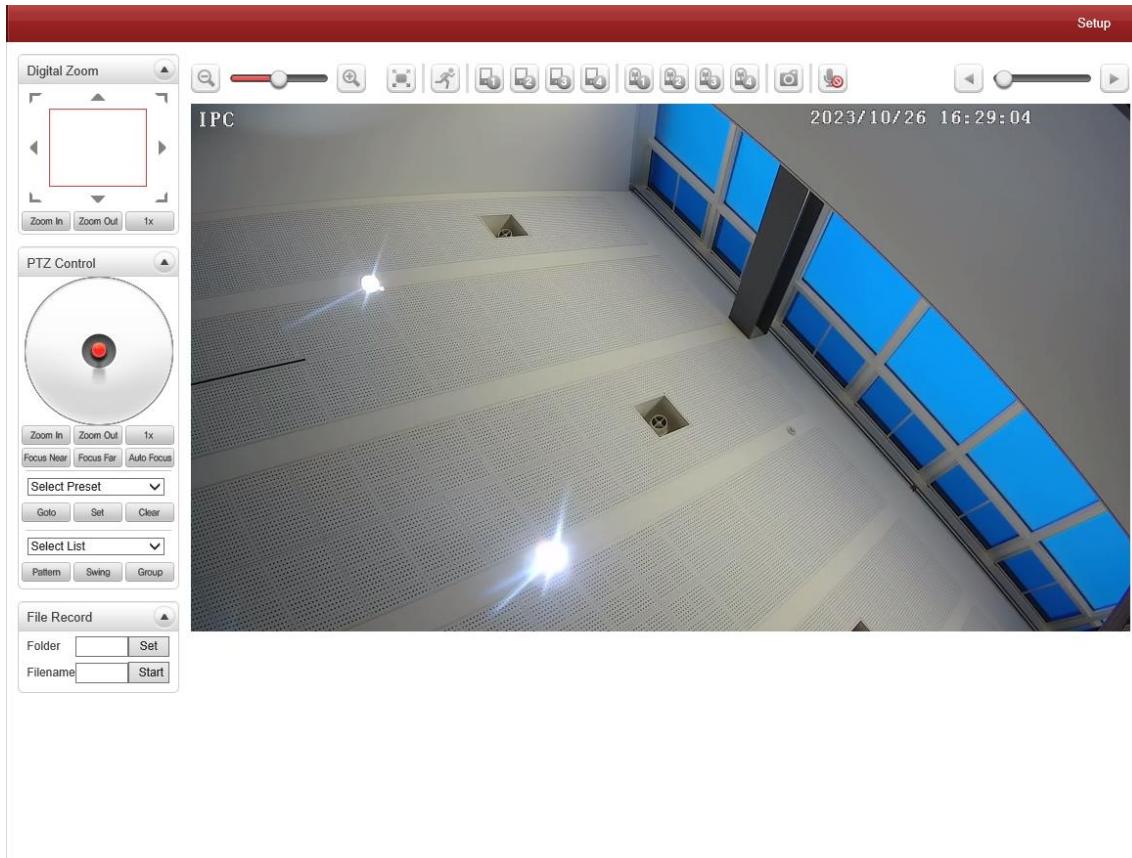
Save Log Option

	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

表示	説明
Include	保存するログにさまざまなオプションを含めることができます。
Exclude	保存するログにさまざまなオプションを外すことができます。

10. Live メニュー

本機に接続されている PTZ 機能などを有するカメラの制御を行うことができる機能です。



※View 画面を確認したい場合は、H.264 の映像表示を推奨します。

表示する映像は、[9.2.3. Remote](#) の「Web Display」にて変更可能です。

表示	説明
	<p>View 画面上のズーム制御を行います。</p> <p>Zoom in : 拡大します。</p> <p>Zoom out : 縮小します。</p> <p>1x : ワンクリックで通常サイズに戻ります。</p>
	<p>Pan(左右)、Tilt(上下)、Zoom(拡大)の制御を行います。</p> <p>Zoom in : 拡大します。</p> <p>Zoom out : 縮小します。</p> <p>Stop : 現在進行中のアクションを停止します。</p> <p>Focus Near : 近くに物体に焦点を合わせます。</p> <p>Focus Far : 遠くの物体に焦点を合わせます。</p> <p>Auto Focus : 自動的に焦点を合わせます。</p>

	Preset の設定を行います。 Goto : 選択したプリセット位置へカメラを移動します。 Set : 現在の位置でプリセットを保存します。 Clear : プリセットを解除します。
	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
	PC のダウンロードフォルダに保存することができます。 Filename : ファイル名を設定し、Start で開始、Stop で停止します。 ファイル名 [Filename_IPaddress_hh_mm_ss] の MKV ファイルを作成。 ※Chrome, Edge で使用可能
	Live 画面のスクリーンサイズを調節します。
	クリックするとフルスクリーンになり、Esc で元のサイズに戻ります。
	接続先の TCS-9500 の Motion Detection(動体検知機能)が有効である場合、設定した範囲内で動きを感じると赤くなります。
	センサーが ON になると作動します。作動中は数字が赤くなります。
	クリックすると、機器のアラームリレーを ON/OFF することができます。作動中は数字が赤になります。
	画像をキャプチャし、JPEG ファイルで保存します。 ※Chrome, Edge で使用可能
	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
	映像をブラウザに映し出す前にバッファリングするデータのフレーム数を設定します。

11. 製品仕様

製品名	TCS-1700	
タイプ	デコーダ	
圧縮方式	H.264、H.265、MJPEG	
出力解像度	HDMI : 720x480 ~ 3840x2160 Composite : 720x480	
最大フレームレート	60fps @3840x2160	
ビデオ	出力	HDMI x1(type A)、Composite x1(BNC)
	データレート	単画面、2分割(Vertical/Horizontal Dual)、4分割(Quad)、Rotation
オーディオ	スタンダード	G.711 / AAC
	入力	Line-In x1(ステレオミニジャック)
	出力	Line-Out x1(ステレオミニジャック)、HDMI x1
	サンプルレート	G.711 : 8kHz AAC : 32kHz / 44.1kHz / 48kHz
	データレート	G.711 : 64kbps AAC : 32kbps / 64kbps / 128kbps / 192kbps
ネットワーク		Ethernet 10/100/1000BASE-T(RJ-45) x1 ・Full/Half duplex Auto detection ・オート MDI/MDI-X ・IEEE 802.3at Power Over Ethernet PD
USB ポート	USB3.0 x1	
外部装置	アラームポート	アラーム出力 x2
	センサーポート	センサー入力 x2
	シリアルポート	RS-232 x1
		RS-422/485 x1
電源	ブザー	ブザー x1
	寸法	(W)134 x(H)33 x(D)125mm(突起部含まず)
重量		453.7g(本体のみ)
電源	DC ジャック	DC12V
	PoE	IEEE 802.3at PD として動作
最大消費電力		15W
動作温度		-10~+50°C
動作湿度		0~90%RH(結露なきこと)
保存温度		-20~+50°C

保存湿度	0～90%RH(結露なきこと)
認証	VCCI Class A、RoHS、CE、FCC
製品保証期間	本体：1年間 ACアダプタ：2年間

12. 困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 映像元のパソコン等の出力設定は正しく設定されているか
- 出力先のモニタ等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

13. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます。
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より 3ヶ月間 (弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応)

製品保証期間：

《本体》ご購入日より 1年間 (お預かりによる修理、または交換対応)

《ACアダプタ》ご購入日より 2年間 (お預かりによる修理、または交換対応)

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
(修理できない場合もあります)
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間：平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）9:00～17:00

TEL：0570-060030

問合せフォーム：https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

